

札幌市として設定する調査研究項目

教科	社会	種目	地理的分野
----	----	----	-------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	社会的事象について、自ら疑問や課題をもち、他者との協働を通して、多角的に考察しながら地域的特色について捉え、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。
		(2) 資料の取扱い	写真や地図、図表などの各種資料について、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら読み取り、必要な情報を集めることが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」を位置付けている。	(1) 社会参画の視点を取り入れた学習の取扱い	よりよい社会の実現を視野に、地域に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を育むことが可能な内容となっているか。
		(2) 人間尊重の意識を醸成する学習の取扱い	様々な地域における多様な生活や文化を理解し、尊重しようとする実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、『ふるさと札幌』を心にもつ学びや「札幌らしい特色ある学校教育の推進」を位置付けている。	(1) 「札幌らしさ」を学ぶ学習の推進	地域の環境問題や環境保全、雪を克服したり生かしたりするなどの人間の営みについて理解し、自ら環境を大切にし、雪と共生しようとする心情を育むことが可能な内容となっているか。
		(2) 札幌や北海道の地域的特色の取扱い	地域の発展を支える人間の営みなど、札幌や北海道などの地域的特色の具体例が、地域への関心を高めることが可能な内容となっているか。

調査研究項目 No.1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	社会的現象について、自ら疑問や課題をもち、他者との協働を通して、多面的・多角的に考察しながら地域的特色について捉え、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・章ごとに「導入の活動」や地域の概観が分かる資料が掲載されており、「みんなでチャレンジ」で示された学習活動において他者との協働を通して、資料を読み取っていく中で、自分の考えを整理し、子どもが自ら単元を貫く課題を見いだすとともに、解決に向かうための学習の見通しをもつことが可能な内容となっている。 ・「世界の諸地域」の学習では「『探究課題』を立てよう!」、「日本の諸地域」の学習では「『探究課題』の解決へ向けて追究していくこと」が明示されており、導入の中で、子どもが課題の解決に向けて、見通しをもち、主体的に学習を進めることが可能な内容となっている。 ・1単位時間の学習において、学習課題が示されており、子どもが学びを「チェック」と「トライ」に掲載されている学習活動を通して、考えを深めていくことが可能な内容となっている。 ・各章、節の「まとめの活動」において、個人活動やグループ活動で構成される「みんなでチャレンジ」が掲載され、対話的な学びを行うことができ、多様な意見に触れながら「導入の活動」で設定されている「探究課題」について自分の言葉でまとめることが可能な内容となっている。 ・「世界の諸地域」の学習において、「章を見通した学習課題」が明示され、各節には「学習テーマ」が掲載されていることで、子どもが課題の解決に向けて見通しをもって追究することが可能な内容となっている。 ・1単位時間の学習において、学習課題が示されており、「確認」や「表現」に掲載されている学習活動を通して、学習を振り返り、自分の言葉で表現することを促す内容となっている。 ・「LOOK」と「THINK」が掲載されているページがあり、子どもが追究の視点を明確にすることが可能な内容となっている。 ・各節などの単元の終末において、「学習のまとめと表現」が掲載されており、学習したことについて、「確認しよう」、「振り返ろう」、「活用してまとめよう」の3つのステップに沿って学習を整理して、自分の考えを表現することが可能な内容となっている。 ・「世界の諸地域」の各州や「日本の諸地域」の各地方の導入において、「写真で眺める」を設定しており、大判の写真資料と地図資料を関連付けながら、単元の学習の主題や視点を捉え、学習の見通しをもつことが可能な内容となっている。 ・1単位時間の学習において、「学習課題」とともに「単元を貫く問い」が記載されており、常に単元の問いを意識し、その解決に向けて学習に取り組むことが可能な内容となっている。 ・1単位時間の学習において、「確認しよう」にて重要事項を確かめるとともに、「説明しよう」で自分の言葉で学習内容を振り返ることを促す内容となっている。 ・各章、節の終末に設定している「学習を振り返ろう」において、章、節の問いについて、自分の考えを整理するとともに、他者との対話を通して考えを深める場面が設定されており、単元での学習について自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。 ・「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の導入において、「写真で見える」と関連付けながら各地域の自然的特色の学習をした上で、「節の問いを立てよう」のページが設定され、単元を貫く問いの解決に向けて「なぜ」を用いて調べたいことを整理することを促し、子どもが学習の見通しをもつことが可能な内容となっている。 ・1単位時間の学習において、学習課題が示されており、「確認」や「表現」の学習活動を通して、学習を振り返り、自分の言葉で表現することを促す内容となっている。 ・「世界の諸地域」と「日本の諸地域」の学習では、「まとめとふり返し」のページにおいて、「議論してみよう」が掲載されており、他者との学び合いを通して、地域的特色を多角的に捉えることができ、自分の考えを深めることが可能な内容となっている。 		
帝 国			
日 文			

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 資料の取扱い
調査研究の具体的内容	写真や地図、図表などの各種資料について、社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら読み取り、必要な情報を集めることが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・虫眼鏡マークにて、見方・考え方を働かせるための視点を示しており、子どもが自ら資料を読み解いたり、まとめの活動を進めたりすることが可能な内容となっている。 ・地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付ける「スキル・アップ」が31か所掲載されているとともに、そこで身に付けた技能を活用して活動するコーナーが鉛筆マークにて示され、資料活用の技能の定着を図ることが可能な内容となっている。 ・「世界の諸地域」の学習では、節の最後に「資料から発見！」が掲載され、複数の資料を比較したり、関連付けたりするなど資料活用の技能を高めることが可能な内容となっている。 		
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・写真や地図、グラフなどの資料とともに、キャラクターの吹き出しで資料を読み取るポイントが示されており、子どもが見方・考え方を働かせることが可能な内容となっている。 ・教科書の冒頭に小学校で身に付けた資料活用の技能を振り返る「地理にアプローチ」が掲載されているとともに、地図やグラフの扱い方を学習するための「地理の技」が8か所掲載されており、資料活用の技能の定着を図ることが可能な内容となっている。 ・学習から興味を広げるコラム「地理の窓」が掲載され、地理の学習に対する興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 		
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・写真資料などに対し、キャラクターの吹き出しで資料を読み取るポイントが示されているとともに、学習の振り返りのページにおいて「見方・考え方」マークが示されており、子どもが学習を進める上で見方・考え方を働かせることが可能な内容となっている。 ・地理の学習に必要な基礎的・基本的な技能を身に付ける「技能をみがく」が21か所掲載され、写真や地図、グラフなどの基礎的・基本的な読み取り方について「やってみよう」に示されている学習活動を通して身に付けることが可能な内容となっている。 ・資料に示されている「資料活用」では、資料の読み取りの際に着目する視点を示しているとともに、「地図帳活用」では地図帳を活用する技能を身に付けられるよう学習活動が示されており、資料活用の技能の定着を図ることが可能な内容となっている。 ・「地理+」というコラムが掲載されており、学習内容に関連した事例を紹介し、資料を関連付けながら子どもが学習を深めることが可能な内容となっている。 		
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・1単位時間の学習のページにおいて、その学習課題を追究していく手がかりとして「見方・考え方」と資料を読み取るポイントが示されており、子どもが解決への見通しをもつことが可能な内容となっている。 ・地理の学習に必要な技能を習得する「スキルUP」が「統計+資料を活用する」「地図を活用する」など6種類に整理され、27か所掲載されており、系統立てて資料活用の技能の定着を図ることが可能な内容となっている。 ・現代的な諸課題を含めたトピックである「地理+α」が掲載されており、子どもが興味・関心を高め、学習内容をより深く理解することが可能な内容となっている。 		

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 社会参画の視点を取り入れた学習の取扱い
調査研究の具体的内容	よりよい社会の実現を視野に、地域に対する理解と関心を深めて地域の課題を見だし、地域社会の形成に参画し、その発展に努力しようとする態度を育むことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	・巻頭3「持続可能な社会の実現に向けて」というページにおいて、現代的な諸課題を捉えるために「環境・エネルギー」「人権・平和」「伝統・文化」「防災・安全」「情報・技術」の五つの視点が示されているとともに、「未来にアクセス」において、学習内容と関連したコラムが21か所掲載されており、地域社会の形成に参画する意識と態度の育成に向けて意欲を高めることが可能な内容になっている。
東 書	・「地域調査の手法」の学習において、兵庫県の防災対策の事例を基に、実際の人の営みを学ぶことを通して、地域社会の形成に参画する意欲を高めることが可能な内容になっている。 ・「持続可能な地域の在り方」の学習において、写真によって世界と日本の課題を振り返るとともに、単元名や見開きのページの見出しの言葉によって、身近な地域の未来について主体的かつ協働的に考察することが可能な内容となっている。
教 出	・「持続可能な社会に向けて<クロスロード>」というコラムが6テーマ掲載されているとともに、「地理の窓」において、学習内容と関連したコラムが53か所掲載されており、地球的課題を捉え、課題を解決していこうとする社会参画の意識を高めることが可能な内容となっている。 ・「地域調査の手法を学ぼう」の学習において、東海地方の防災に関わる事例を基に、防災の観点から地域の課題を見いだすことが可能な内容となっている。 ・「地域のあり方」の学習において、既習事項を生かしながら日本の諸地域における課題を整理し、調査の手引きを示すことで、身近な地域の特色について考察することが可能な内容となっている。
帝 国	・「未来に向けて」という特設ページ9テーマ、コラム31テーマが掲載されており、子どもが学習内容と関連付けながら、「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」「平和・安全」「情報・技術」「伝統・文化」の六つの視点から課題を捉え、解決に向けて考えることが可能な内容となっている。 ・「地域調査のしかた」の学習において、単元の導入に調査テーマに向かうための視点や見方・考え方が示されているとともに、具体的な調査の観点例が掲載されており、自分たちの住んでいる地域に対する関心を高めることが可能な内容となっている。 ・「地域のあり方」の学習においては、地理的分野の2年間の学習を振り返り、地域の課題を捉えるための視pointsの例が多く示されていることで、自分たちの住んでいる地域の課題を見いだすことを促すとともに、調査内容をまとめるプレゼンテーションの作り方を「技能をみがく」に示し、自分たちの考えや提案を発信することを促す内容となっている。
日 文	・「持続可能な地域をめざして」というコラムが16テーマ掲載され、地域に住む人々が、地域が抱える課題の解決のためにどのような取組を進めているのか記載されており、持続可能な地域づくりの実現に向けて、社会参画の意識を高めることが可能な内容となっている。 ・「地域調査の手法」の学習において、デジタル地図の利用方法や、調査するための視点、具体的な調査の方法を「スキルUP」の中で示し、主体的に調査を進めることが可能な内容となっている。 ・「地域の在り方」の学習において、地域調査の手法や日本の諸地域での学習を生かしながら様々なシンキングツールや他地域との比較などの手法を示し、地域の解決策の考察や未来の在り方を構想する活動を通して、積極的に社会に参画する態度を育むことが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 人間尊重の意識を醸成する学習の取扱い
調査研究の具体的内容	様々な地域における多様な生活や文化を理解し、尊重しようとする実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
東 書	<ul style="list-style-type: none">・世界の諸地域のアジア州の学習において、様々な宗教について掲載されているとともに、「もっと知りたい」では、ムスリムの生活についてイスラームの地域による多様性に触れられており、宗教への正しい理解を深め、人権への意識を高めることが可能な内容となっている。・北海道地方の学習において、「未来にアクセス」の中で、アイヌの文化について掲載されており、自然と共に生きるアイヌ民族についての生活や習慣への理解が深まる内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none">・教科書の内容についてガイドするキヤククターの中に、車椅子に乗った子や外国籍の子がいるなど多様な子どもが互いに協力しながら学習に取り組み様子が描写されており、多様性を尊重しようとする態度を育むことが可能な内容になっている。・「世界の人々の生活と環境」の学習において、地域の特色や人々の生活の様子が分かる写真掲載するとともに、言語や民族の特色の違いについて見開き1ページで解説し、日本で暮らす外国人やアイヌ民族を含む多様な人々の暮らしや文化について理解を深めることが可能な内容となっている。・「世界の諸地域」の学習において、「地理の窓」のコラムによって、宗教、人種、民族などの各地域が抱える課題について掲載しており、多様な生活や文化を理解し、尊重する態度を養うことが可能な内容となっている。・北海道地方の学習において、「アイヌ民族の文化に学ぶ」と題して特設ページ「クロスロード」が掲載されており、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の歴史や文化を理解し、アイヌ民族との共生の在り方を考えることが可能な内容となっている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none">・世界の諸地域の各州の学習において、民族や宗教・文化の特色について本文中に太字で掲載されており、異なる地域の多様性について理解することが可能な内容となっている。・「未来に向けて」のコーナーの中で、「人権・多文化」をテーマにしたコラムが掲載されており、多様な価値観や文化との共生を図る人々の姿が紹介され、多様性への理解と寛容な態度を育むことが可能な内容となっている。・北海道地方の学習において、アイヌ民族の歴史について触れられているとともに、「未来に向けて」のコラムでは1ページを用いて、アイヌ民族について記載があり、アイヌ民族との共生の在り方を考えることが可能な内容となっている。
日 文	<ul style="list-style-type: none">・世界の諸地域のオセアニア州の学習において、多様性を尊重する社会づくりを探究する構成となっており、民族などに加え、性的少数者などの事例を取り上げるなど多様な人々が共生している事例が掲載され、様々な背景をもつ人々と共生しようとする態度を養うことが可能な内容となっている。・「世界の諸地域」のヨーロッパ州の学習において、「地理+α」のコーナーにて、ウクライナとロシアとの関係が掲載されており、新たな地球的課題を捉えながら、人間尊重の意識を高めることが可能な内容となっている。・北海道地方の学習において、「アイヌの人々から学ぶ自然環境との共生」と題し、アイヌ民族の歴史や文化・言語などが掲載されており、アイヌ民族を尊重することについて、理解を深めることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1)「札幌らしさ」を学ぶ学習の推進
調査研究の具体的内容	地域の環境問題や環境保全、雪を克服したり生かしたりするなどの人間の営みについて理解し、自ら環境を大切にし、雪と共生しようとする心情を育むことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「世界の諸地域」の学習の導入において、SDGsの説明が記載されたコラム「未来にアクセス」を基に、地球的課題について考える活動が示されており、「環境」の視点で学習することを促し、環境を大切にしようとする心情を育むことが可能な内容となっている。 ・北海道地方の学習において、「さっぽろ雪まつり」の様子が紹介されており、自然環境を活用した取組について理解し、雪と共生しようとする心情を育むことが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭2において、「地球的課題とSDGs」が掲載され、世界の諸地域の導入において関連付けて学習するよう促しており、地理の学習を通して、SDGsを意識して学習することが可能な内容となっている。 ・近畿地方の学習において、工業化に伴う琵琶湖の環境汚染と、条例の制定や市民活動等の保全に向けた取組が掲載されており、開発と環境保全の動きについて理解することが可能な内容となっている。 ・北海道地方の学習において、「さっぽろ雪まつり」や外国人観光客が多く集まるスキー場の様子が掲載されており、雪を生かした観光での取組について理解し、雪と共生しようとする心情を育むことが可能な内容となっている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページ「未来に向けて」において、SDGsの達成に向かう世界や日本における取組が写真を用いて掲載されており、地理の学習を通して、SDGsを意識して学習することが可能な内容となっている。 ・近畿地方の学習において、環境保全の視点に基づいて学習を進める構成となっており、経済の発展に伴う琵琶湖の水質汚濁や高度経済成長期の阪神工業地帯における公害とその対策について紀伊山地における林業と環境保全の両立を考えた取組とともに掲載され、人々の生活や産業、環境保全の考え方や営みについて理解することが可能な内容となっている。 ・北海道地方の学習において、見開き2ページにおいて、「さっぽろ雪まつり」や外国人観光客でにぎわうスキー場、「雪中米」や「越冬キヤベツ」、「雪冷房」など雪を資源として生かした諸産業や利雪の取組を紹介し、多数の具体例を通して雪の活用方法について理解し、雪と共生しようとする心情を育むことが可能な内容となっている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭ページにおいて、SDGsの達成に向かう世界や日本の事例が写真を用いて掲載されており、地理の学習を通して、SDGsを意識して学習することが可能な内容となっている。 ・北海道地方の学習において、雪冷房などの利雪の取組、冬季オリンピックや「さっぽろ雪まつり」、外国人観光客が訪れるスキー場について紹介されており、雪の克服だけでなく活用方法について理解し、雪と共生しようとする心情を育むことが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(2) 札幌や北海道の地域的特色の取扱い
調査研究の具体的内容	地域の発展を支える人間の営みなど、札幌や北海道などの地域的特色の具体例が、地域への関心を高めることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の学習において、北海道の稲作の北限の変化や農家一戸あたりの耕地面積について図やグラフを用いて記載されており、北海道の特色に合わせた農業の在り方について理解することが可能な内容となっている。 北海道地方の学習において、北海道における漁業の歴史や北方領土問題について記載されており、北海道と諸外国との関係や漁業の抱える課題について考えることが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の学習において、札幌市西区琴似付近にあった屯田兵の宿舎の写真を掲載しながら、北海道の開拓について記載されており、地域への関心を高めることが可能な内容となっている。 北海道地方のまよめの学習において、エゾアークの企画を考える活動が設定されており、自然との共生を意識しながら主体的に北海道や札幌の魅力を発信する方法を考えることが可能な内容となっている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の学習において、札幌市内の除雪の様子について記載するとともに、市内の雪堆積場について地図帳を活用して調べるよう促しており、札幌の特色について関心を高めることが可能な内容となっている。 北海道地方の学習において、北海道開拓の歴史や農業の発展について写真や図を用いて掲載されるとともに、「地理+」のコーナーでは開拓の中心として発達した札幌について記載されており、地域への関心を高めることが可能な内容となっている。 北海道地方の学習において、コラム「未来に向けて」の中で、野生動物との共存を目指す札幌市の取組を取り扱っており、地域への関心を高めることが可能な内容となっている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> 北海道地方の「寒冷な気候に対応した人々の生活」の学習において、ロードヒーティング、信号機の工夫など札幌市内の写真が掲載されるとともに、人口が札幌市に一極集中している課題も掲載するなど、地域への関心を高めることが可能な内容となっている。 北海道地方の学習において、高速道路や新幹線、空港などの交通網の現状について図を用いて掲載されており、北海道の交通網の現状と課題を捉え、路線の維持などの現代的な諸問題について、関心を高めることが可能な内容となっている。 北海道地方の学習において、グリーンツーリズムや近代化遺産について触れられており、北海道の地域的特色を生かした新たな産業による地域活性化について考えることが可能な内容となっている。

札幌市として設定する調査研究項目

教科	社会	種目	歴史的分野
----	----	----	-------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	社会的事象について、自ら疑問や課題をもち、政治や文化などの特色を関連付けて捉えたり、社会的事象の背景や影響について話し合ったりするなどして、各時代の特色を分析・考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。
		(2) 資料の取扱い	写真や絵図、地図、文献、統計などの資料について、歴史的な見方・考え方を働かせながら読み取り、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」を位置付けている。	(1) アイヌ民族の歴史や文化等の取扱い	アイヌ民族の歴史や文化等を正しく理解するとともに、これらを尊重し、差別や偏見をなくすることが可能な内容となっているか。
		(2) 人間尊重の意識を醸成する学習の取扱い	各時代における様々な人権課題を理解するとともに、あらゆる偏見や差別をなくす心情を育てることが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、『ふるさと札幌』を心にもつ学びや「札幌らしい特色ある学校教育の推進」を位置付けている。	(1) 身近な地域の歴史と札幌の歴史の取扱い	身近な地域の歴史に関わる具体的な事象について調べる活動を通して、その時代の様子を考え、地域に受け継がれてきた伝統や文化、札幌の歴史への興味・関心を高めることが可能な内容となっているか。
		(2) 北海道の歴史の取扱い	北海道の歴史と日本の通史を併せて学習することで、北海道の歴史の特殊性について理解し、興味・関心を高めることが可能な内容となっているか。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	社会的事象について、自ら疑問や課題をもち、政治や文化などの特色を関連付けて捉えたり、社会的事象の背景や影響について話し合ったりするなどして、各時代の特色を分析・考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> 各章の「導入の活動」では、「みんなでチャレンジ」の対話的な学習活動を通して「探究課題」を設定し、「探究のステップ」を設けることで、子どもが見通しをもって学習を進めることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、学習課題が示されており、「チェック」と「トライ」に掲載されている学習活動を通して、考えを整理することが可能な内容となっている。 各章の「まとめの活動」では、思考ツール等を用いて節の学習を振り返り、「深めよう」では、他者と協働しながら、探究課題について自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> 各章の「学習のはじめに」では、「LOOK！」の活動に取り組むことで、学習内容を把握し、学習の見通しをもつことが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、学習内容を象徴する見出しで関心を高め、「確認！」や「表現！」に掲載されている学習活動を通して、学習を振り返り、子どもが自分の言葉で表現することを促す内容となっている。 各章の終末では、章の問いの解決に向けて三つのステップが設定されており、見方・考え方を働かせながら考えを深め、章の問いについて自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> 各章の「章扉」では、小学校での学びや既習事項を踏まえて単元の学びを見通すとともに、日本の歴史を扱う節の「タイムトラベル」に示された活動に取り組み、見方・考え方を働かせ、前の時代との変化に着目することで、自ら疑問や課題をもつことが可能な内容となっている。 1 単位時間で学習するページのタイトルの下に、節の問いが学習課題と結びつくように明示されており、常に節の問いを意識し、見通しをもって学習に取り組むことが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、「確認しよう」で重要事項を確かめるとともに、「説明しよう」で自分の言葉で学習内容を振り返ることを促す内容となっている。 各章の「学習を振り返ろう」では、「タイムトラベル」を基に学習を振り返ったり、他者との対話を通して章や節の問いについて自分の考えを深めたりして、各時代の特色を考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。
山 川	<ul style="list-style-type: none"> 各章の扉では、複数の写真や資料とともに日本と世界の年表が掲載されている。 1 単位時間の学習において、学習課題が示されており、「ステップアップ」の活動を通して、考えを深めることが可能な内容となっている。 各章のまとめでは、視点や立場の違いを基にした表の整理を通して、学習内容を深めることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	社会的事象について、自ら疑問や課題をもち、政治や文化などの特色を関連付けて捉えたり、社会的事象の背景や影響について話し合ったりするなどして、各時代の特色を分析・考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行 日 文	<ul style="list-style-type: none"> 各編や各章の「学習のはじめに」では、大きなイラストや写真で各時代のイメージを捉え、年表や地図などの資料を基に、見方・考え方を働かせて「トライ」の活動に取り組むことで、編（章）や節の問いを立てたり、学習の見通しをもったりすることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、学習課題とともに「見方・考え方」の例や節の問いが示されており、「確認」や「表現」に掲載されている活動を通して、学習を振り返り、自分の言葉で表現することを促す内容となっている。 各編や各章の「まとめとふり返し」では、他者との「学び合い」の活動を通して、考えを整理し、時代の特色を自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。
自由	<ul style="list-style-type: none"> 各章の扉では、時代を特徴付ける絵画や写真などの資料を上部に配置し、下部に小学校で学んだ人物が掲載されている。 1 単位時間の学習において、キャラクターの吹き出しを基に、学習の要点を把握しやすい内容となっている。 各章の章末では、探究活動を促す「調べ学習のページ」、基礎的な学習内容の定着を図る「復習問題のページ」、学んだことを構造化する「時代の特徴を考えるページ」、時代を鳥瞰・大観する「対話とまとめ図のページ」が掲載されており、四つの段階を踏まえて学習内容を整理することが可能な内容となっている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入では、鳥の目で見える「歴史絵巻」で時代を俯瞰し、虫の目で見える「〇〇」のコーナーにて、時代を象徴する資料が掲載されている。 1 単位時間の学習において、学習課題が示されているとともに、「確認」や「探究」の活動を通して、学習を振り返り、自分の言葉で表現することとを促す内容となっている。 各章の章末では、「学習のまとめ」が掲載されており、学習した内容を振り返り、他者との話し合いを通して、考えを深めることが可能な内容となっている。
学 び	<ul style="list-style-type: none"> 各章の導入では、世界地図で学習内容を概観するとともに、各部の冒頭には、大きな時代を見渡した学習課題が記載されている。 1 単位時間の学習において、工夫されたタイトルが記載されており、子どもがその時代の様子をイメージできるよう、具体的に本文が記述されている。 各章のまとめでは、ゲームの問題作成や歴史上の人物へのインタビューなど、様々な学習活動を通して、考えを深めることが可能な内容となっている。
令 書	<ul style="list-style-type: none"> 各時代の導入では、学ぶ事柄を把握する年表が掲載されている。 1 単位時間の学習に捉われず、内容のまとまりごとに「課題」が示されている。 各時代のまとめでは、歴史上のできごとを年表で確認したり、重要語句を整理したりすることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No. 1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	（2）資料の取扱い
調査研究の具体的内容	写真や絵図、地図、文献、統計などの資料について、歴史的な見方・考え方を働かせながら読み取り、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、見方・考え方を働かせる視点の例を示したマークが掲載されており、子どもが自ら資料を読み解いたり、様々な側面や異なった立場から考察したりすることが可能な内容となっている。 「みんなでチャレンジ」、「スキルアップ」、「もっと知りたい！」のコーナーでは、見方・考え方を働かせ、対話的な学びを通して歴史的事象について考察することが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、写真や地図などの資料とともにキャラクターの吹き出しが掲載されており、見方・考え方を働かせることを促す内容となっている。 「歴史の窓」や「歴史の技」のコーナーでは、様々な側面や異なった立場から歴史的事象の背景や影響について考えたり、表現したりする力を養うことが可能な内容となっている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、写真や地図などの資料とともにキャラクターの発問が掲載されており、見方・考え方を働かせ、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっている。 「技能をみがく」のコーナーでは、見方・考え方を働かせる上で必要な技能を身に付けるとともに、「アクティブ歴史」において、歴史的事象について多面的・多角的に考察したり、分析したりすることが可能な内容となっている。
山 川	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、写真や絵図、史料などにも発問が付されており、見方・考え方を働かせることを促す可能な内容となっている。 特設ページ「〇世紀の世界」では、世界地図とイラストで、各時代の日本を取り巻く世界情勢を大観することが可能な内容となっている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して、写真や地図などの資料とともにキャラクターの吹き出しが掲載されており、見方・考え方を働かせることを促す内容となっている。 特設ページ「チャレンジ歴史」と「歴史を掘り下げる」では、資料を基に自分の考えを深めたり、他者との対話を通して、様々な側面や異なった立場から理解を深めたりすることが可能な内容となっている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> 各ページに写真や絵図などの資料が掲載されており、生徒の興味・関心を高めることが可能な内容となっている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> 各種資料にマークが掲載されており、見方・考え方を働かせることを促す内容となっている。
学 び	<ul style="list-style-type: none"> 写真や絵画などの大判資料が掲載されており、生徒の興味・関心を高めることが可能な内容となっている。
令 書	<ul style="list-style-type: none"> 巻末に地図や写真などのカラー資料が掲載されている。

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) アイヌ民族の歴史や文化等の取扱い
調査研究の具体的内容		アイヌ民族の歴史や文化等を正しく理解するとともに、これらを尊重し、差別や偏見をなくすことが可能な内容となっているか。	

発行者	調査研究結果		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「アイヌ文化とその継承」が設けられており、自然に根差したアイヌ文化の展開と同化政策に伴う文化維持の難しさ、大正時代以降の文化継承の動きについて学ぶことで、アイヌ民族の歴史や文化等を正しく理解することが可能な内容となっている。 ・近代では、アイヌ民族に対する同化政策の記載があり、北海道旧土人保護法の条文に触れて、明治時代の北海道開拓期におけるアイヌ民族の歴史について学ぶことが可能な内容となっている。 		
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「北海道の歴史を調べよう」が設けられており、民族共生象徴空間「ウポポイ」の設立や、知里幸恵と金田一京助によるアイヌ文化継承のための取組について学ぶことを通して、アイヌ民族の歴史や文化等を正しく理解することが可能な内容となっている。 ・平和な社会を築くために、アイヌの人たちに対する差別や偏見をなくすことは、「国民の課題」として本文で触れられている。 		
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道旧土人保護法によって大きく生活を変えられたアイヌ民族について、言論を通して戦ったアイヌ民族活動家天川恵三郎の取組を学ぶことを通して、アイヌ民族の歴史や文化等を正しく理解するとともに、差別や偏見をなくすことが可能な内容となっている。 ・コラム「日本における先住民族」において、国連の動きとともに、アイヌ民族の誇りが尊重される社会づくりに向けた日本での法律の整備と「民族共生象徴空間」について紹介されている。 		
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「アイヌ民族の歴史と文化」が設けられており、アイヌ民族の歴史や伝統文化について理解を深めることが可能な内容となっている。 ・特設ページ「地域からのアプローズ⑤ 札幌」が設けられており、「2 人口の推移から札幌の未来と多文化共生社会を考えよう」では、アイヌ民族が先住民族として認められた法律の整備を基に、これから目指すべき社会の姿について考えを深めることが可能な内容となっている。 		
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成」が設けられており、アイヌ文化を紹介する複数の写真とともに、知里幸恵と金田一京助による文化継承の取組やユネスコ無形文化遺産に登録されたアイヌ古式舞踊について学ぶことを通して、アイヌの文化に対する理解を深めることが可能な内容となっている。 ・アイヌ民族への偏見や差別的言動は、決して許してはならないと本文で記述されている。 		
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「日本の近代化とアイヌ」が設けられており、アイヌ民族の生活と日本国民化について触れられており、アイヌ民族が差別的な扱いを受けていた歴史やアイヌ文化振興のための法整備について理解することが可能な内容となっている。 		
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・明治期の北海道開拓の歴史の中で、北海道旧土人保護法が制定され、アイヌ民族への保護対策を行うなど、日本国民との同化が進められたことが記載されている。 		
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ・「アイヌの人びとが採集した昆布」を通じて交易をテーマとして、当時の暮らしや和人との戦いについて記載され、アイヌ民族の暮らしの変化や交易の拡大について理解することが可能な内容となっている。 ・明治時代に、琴似出身のマタイチ（琴似又一郎）らが学んだ「北海道土人教育所」が取り上げられており、当時のアイヌ民族の生活様式に大きな変化がもたらされた状況について理解することが可能な内容となっている。 		
令 書	<ul style="list-style-type: none"> ・中世のアイヌ民族の生活の様子や和人との交易について記載されている。 ・江戸時代において、松前藩とアイヌ民族との交易について記載されている。 		

調査研究項目 No.2		豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 人間尊重の意識を醸成する学習の取扱い
調査研究の具体的内容		各時代における様々な人権課題を理解するとともに、あらゆる偏見や差別をなくす心情を育てることが可能な内容となっているか。		
発行者	調査研究結果			
東 書	<ul style="list-style-type: none">・未来にアクセス「女性の政治参加を求めて」が掲載されており、20 世紀以降の欧米諸国における女性の政治参加拡大の動きについて学ぶことが可能な内容となっている。・「もっと知りたい！」において、「『解放令』から水平社へ」のコラムが掲載されており、差別からの解放を目指す全国水平社の運動と子どもが参加した歴史について学ぶことを通して、あらゆる偏見や差別をなくす心情を育てることが可能な内容となっている。			
	<ul style="list-style-type: none">・産業革命に関するページでは、「THINK！」において、工業化の進展と女性や子どもの長時間労働に伴う社会問題について理解を深めることが可能な内容となっている。・特設ページ「国民国家の成立」が設けられており、フランス革命後の女性の権利獲得の動きや、日本における国民意識の変化について学ぶことが可能な内容となっている。			
出 教	<ul style="list-style-type: none">・コラム「中世の老人と子ども、女性」が掲載されており、古代から中世における女性の立場について記載があり、女性の地位や権利について理解を深めることが可能な内容となっている。・コラム「人種差別撤廃への道」が掲載されており、国際連盟規約に人種差別撤廃を盛り込むことを提案した日本の動きについて紹介されているとともに、「未来に羽ばたく女性たち」では、第一次世界大戦後に社会進出する各国の女性の女性たちについて記載されており、あらゆる偏見や差別をなくす心情を育てることが可能な内容となっている。			
帝 国	<ul style="list-style-type: none">・ファシズムの台頭とユダヤ人等に対する差別・迫害に関して比較的詳細な記載があり、世界的な人種差別・民族迫害の歴史について理解を深めることが可能な内容となっている。			
山 川	<ul style="list-style-type: none">・コラム「各時代の女性」が掲載されており、古代から現代までの女性に関する記載があり、各時代における女性の地位や活躍などについて理解を深めることが可能な内容となっている。・特設ページ「水平社の創立とさまざまな人権運動」が設けられており、水平社の結成と様々な解放運動との関連について記載されているとともに、北海道旭川の解平社創立について紹介されており、あらゆる偏見や差別をなくす心情を育てることが可能な内容となっている。			
日 文	<ul style="list-style-type: none">・コラム「日本の人種平等案はなぜ否決されたのか」が掲載されており、国際連盟規約に人種差別撤廃を盛り込むことを提案した日本の動きについて紹介されている。			
自由社	<ul style="list-style-type: none">・コラム「幻の人種平等案」が掲載されており、国際連盟規約に人種差別撤廃を盛り込むことを提案した日本の動きについて紹介されている。			
育 鵬	<ul style="list-style-type: none">・コラム「『奴隷制度は憲法違反』と訴えた黒人女性」が掲載されており、アメリカで奴隷制度反対を訴えた黒人女性について紹介されている。・「アンネの日記」の内容を基に、第二次世界大戦下でユダヤ人が迫害される様子が記載されており、差別される側の人々の心情に立って考えることで、偏見や差別をなくす心情を育てることが可能な内容となっている。			
学び舎	<ul style="list-style-type: none">・コラム「再評価される『生類憐みの令』」が掲載されており、制定の背景について記載され、この時代に人々がお互いに労わりあう精神が育まれてきたことが紹介されている。・国際連盟規約に人種差別撤廃を盛り込むことを提案した日本の動きについて触れられている。			
令 書				

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1) 身近な地域の歴史と札幌の歴史の取扱い
調査研究の具体的内容	身近な地域の歴史に関わる具体的な事象について調べる活動を通して、その時代の様子を考え、地域に受け継がれてきた伝統や文化、札幌の歴史への興味・関心を高めることが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な地域の歴史」では、調査の流れ（テーマと問いの設定、調査、考察、まとめと発表、振り返り）が具体的に示されており、地域の歴史を調べるための技能を身に付けるとともに、「身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財」を地図上に示すことで、各地に受け継がれてきた伝統や文化への興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・「地域の歴史を調べよう」では、各地に残る遺跡・博物館・史跡・記念碑などで調べる活動を通して、身近な地域の歴史に対する興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 		
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な地域の歴史を調べよう」では、新潟県新潟市を例に、地域の歴史を調べる活動（問いを立てる、調査、考察、まとめ、発表と振り返り）が具体的に紹介されており、地域の歴史を調べるための技能を身に付けるとともに、地域に受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めることが可能な内容となっている。 		
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・「歴史の調べ方・まとめ方・発表のしかた」では、宮城県仙台市を例に、歴史の謎を探る活動（情報の集め方、テーマの設定、調査のしかた、まとめ方、発表のしかた）が具体的に紹介されており、フィールドワークから疑問や課題を見付け、地域の歴史を調べるための技能を身に付けるとともに、地域に受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めることが可能な内容となっている。 ・特設ページ「歴史を探ろう」が設けられており、北海道の開拓と札幌の建設について記載があり、3枚の写真資料を基に、札幌の近代化について理解を深め、札幌の歴史への興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 		
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な地域を調べよう」では、東京都荒川区を例に、歴史を調べる活動（テーマの設定、調査、レポート作成と発表）が具体的に紹介されており、地域の歴史を調べるための技能を身に付けるとともに、地域に受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めることが可能な内容となっている。 ・「地域からのアプローチ⑤」では、開拓の歴史から札幌の発展について考えるとともに、人口の推移から札幌の未来と多文化共生社会について考える学習を通して、札幌の歴史への興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 		
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な地域の歴史の探究」では、大阪市を例に、地域調査の進め方（テーマ設定、調査課題設定、調査、考察、まとめと発表）が具体的に紹介されており、情報カードを基に視点を基に見付け、関連付けたり、比較したりして、地域の歴史を調べるための技能を身に付けるとともに、地域に受け継がれてきた伝統や文化への関心を高めることが可能な内容となっている。 ・「でかけよう！地域調べ」では、「手宮線跡地から町の発展を探る—北海道小樽市—」において、1880年に札幌—手宮間、1882年に札幌—幌内間に鉄道が開通した歴史が紹介されている。 		
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる学習において、事例を通して、テーマ設定・調査・まとめまでの流れが具体的に示されている。 		
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・「身近な地域の歴史の調べ方」では、調査の仕方（テーマ設定、調査、分類・分析・整理、発表）が具体的に示されている。 ・「地域の歴史を調べてみよう」では、大阪を例に、見方・考え方を働かせながら、調べたことをまとめる活動が紹介されている。 		
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域の博物館で調べる」では、東京都を例に、地域の歴史について調べる活動が紹介されている。 		
令 書	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域の歴史を調べる学習において、各章の章末では、テーマに対する調査、まとめ、考察のしかたについて記載されている。 		

調査研究項目 No.3		ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(2) 北海道の歴史の取扱い
調査研究の具体的内容				
北海道の歴史と日本の通史を併せて学習することで、北海道の歴史の特殊性について理解し、興味・関心を高めることが可能な内容となっているか。				
発行者	調査研究結果			
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代の北海道や沖縄などでは、環境のちがいがから、狩りや漁、採集を中心とした独自の文化が発展したことについて脚注で触れられている。 ・ 明治期の屯田兵による開拓の様子写真とともに紹介されており、北海道の開拓の歴史について興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 			
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代の北海道や沖縄では、稲作が行われず、狩りや漁、採集を中心とする文化が営まれたことについて本文で触れられている。 ・ 北海道の命名の由来について、松浦武四郎とアイヌ民族とのエピソードが脚注で紹介されているとともに、特設ページ「北海道の歴史を調べよう」が設けられており、地域史の学習を深めることで興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 			
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・ 北海道の歴史について、本文による記述とともに、本州・九州・四国と比較できる略年表の掲載により、「続縄文文化」、「オホーツク文化」、「擦文文化」、「アイヌ文化」と続く北海道の歴史の特殊性について理解し、興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・ 特集「移住と開拓が進む北海道」では、島義勇、網走刑務所などの写真が掲載されており、北海道開拓の歴史に対する理解を深め、興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 ・ 巻末の「歴史年表」において、「北海道の時代区分」として、「続縄文文化」の時代、「オホーツク文化」の時代、「擦文文化」の時代、「アイヌ文化」の時代、「松前藩の支配」の時代が記載されており、北海道の歴史の特殊性について本州・九州・四国と比較できるよう工夫されている。 			
山 川	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代では、稲作の広まりについて、北海道と南西諸島を除く日本列島の大部分の地域で、安定して食料が生産されるようになったと本文で触れられている。 ・ 特設ページ「開拓の歴史から考える札幌」では、札幌の歴史について触れることができる内容となっている。 			
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代の北海道や東北地方では、気候が寒冷なため、稲作はあまり広まらず、狩猟などが中心であったことについて脚注で触れられている。 ・ 明治期の北海道開拓の様子写真とともに紹介されており、北海道の開拓の歴史について興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 			
自由社	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特設ページ「日本の近代化とアイヌ」が設けられ、アイヌ民族に対する政府の対応を通して、北海道の歴史を学ぶことが可能な内容となっている。 			
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代では、水田稲作は、北海道や沖縄などを除く日本中に、しだいに広まったことについて、本文で触れられている。 ・ 「歴史ズームイン」において、北海道の開拓におけるクラークの活躍について紹介されている。 			
学び舎	<ul style="list-style-type: none"> ・ 稲作の広まりについて、北海道では、漁・採集・狩りを中心とした生活が続いた（続縄文文化の時代とよぶ）ことについて脚注で触れている。 ・ 明治期の領土画定において、松浦武四郎が作った蝦夷地の地図（1860年）や北海道移住手引草（1901年）が掲載されているとともに、北海道の市町村名の約8割がアイヌ語に由来していることについて紹介されている。 ・ 巻末の年表において、北海道の歴史が「続縄文文化の時代」「オホーツク文化の時代」「擦文文化の時代」「アイヌ文化の時代」として、本州などの歴史と分けて示されている。 			
令 書	<ul style="list-style-type: none"> ・ 古代では、水田稲作の広まりについて、北海道と南西諸島を除く日本列島のほぼ全域に広がったと脚注で触れられている。 ・ 北海道の開拓の歴史について年表で掲載されている。 			

札幌市として設定する調査研究項目

教科	社会	種目	公民的分野
----	----	----	-------

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 課題探究的な学習の取扱い	現代の社会的現象について、自ら疑問や課題をもち、他者と協働しながら考察し、判断したことを、根拠を基に適切に表現する力を育むことが可能な内容となっているか。
		(2) 資料の取扱い	写真や絵図、統計などの資料や具体的な事例を基に、現代社会の見方・考え方を働かせながら、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっているか。
		(1) アイヌ民族の人権に関わる学習の取扱い	アイヌ民族の人権に関する課題を把握するとともに、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。
2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「人間尊重の教育の推進」や「国際理解教育の推進」を位置付けている。	(2) 人間尊重の意識を醸成する学習の取扱い	国籍や年齢の違い、障がいの有無、性などの人権に関する課題を把握するとともに、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。
		(3) 多文化共生社会の実現に関わる学習の取扱い	多文化共生社会の実現に向けた国際的な問題について把握するとともに、我が国の伝統と文化を大切にし、世界の人々の多様な生活や文化を尊重しながら社会に参画していくこととする実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。
		(1) 未来の札幌を考える「環境」の取扱い	環境と社会生活等との関連や環境保全に関わる行政等の取組について理解するとともに、持続可能な社会を形成するという観点から環境に関わる諸問題について考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。
3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」及び「札幌市学校教育」において、「『ふるさと札幌』を心にもつ学び」や「札幌らしい特色ある学校教育の推進」を位置付けている。	(2) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い	地方自治の発展に寄与しようとする意識を高めることにより、将来、自立した札幌人として、地域社会に関わろうとする意欲や態度を育むことが可能な内容となっているか。
教科別項目			
共通項目			

調査研究項目 No.1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 課題探究的な学習の取扱い
調査研究の具体的内容	現代の社会的現象について、自ら疑問や課題をもち、他者と協働しながら考察し、判断したことを、根拠を基に適切に表現する力を育むことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 東 書	<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めにある「導入の活動」のページでは、現代の社会的現象に関する事例について、「みんなでチャレンジ」で示された学習活動を通して子どもの思考を促すとともに、他者との協働によって疑問や気付きを生み出し、「探究のステップ」で問いの形に整理することで、学習の見通しをもち、単元を貫く問いである「探究課題」を設定することが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、導入資料とともに、サブタイトルが示されており、生徒の興味・関心を高めることが可能な内容となっている。 適宜「みんなでチャレンジ」が位置付けられており、他者と協働しながら学習内容について考察し、判断することが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、「チェック」と「トライ」で学習を振り返り、考えを深めていく場面が位置付けられている。 各章末の「まとめの活動」のページでは、「探究のステップ」で思考ツール等を用いながら各節の問いに対して振り返るとともに、「深めよう」では、「導入の活動」で取り組んだ事例について、再度「みんなでチャレンジ」で示された学習活動を通して、自身の考えを整理しながら、他者と協働して学びを深め、「探究課題」に対する自分の考えを表現することが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めにある「学習のはじめに」のページでは、「ウォーミングアップ！公民」で、生徒の生活体験に関連する問いにより、疑問や気付きを生み出し、章の問いを捉えることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、導入資料とともに、適宜「LOOK！」のコーナーで解説が示されることで、生徒の興味・関心を高め、学習課題につなげて考えることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、「確認」と「表現」で学習を振り返り、考えたことを表現する場面が位置付けられている。 各章末の「学習のまとめと表現」のページでは、「HOP！」と「STEP！」で各節の学習を振り返り、自分の意見の変容を確認したり、思考ツール等を用いて考えを整理したりしながら、章の問いに対する自分の考えを表現することが可能な内容となっている。
国 帝	<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めにある「学習の前に」のページでは、大きなイラストを読み解く活動を通じて疑問や気付きを生み出し、「対話」で意見交換をしながら考えを深め、章の問いを捉えることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、導入資料とともに、「対話」で考えを出し合いながら、学習課題につなげて考えることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、「確認しよう」と「説明しよう」で学習を振り返り、考えたことを説明する場面が位置付けられている。 全てのページにおいて、「節の問い」が学習課題の近くに位置付けられており、「節の問い」を意識しながら学習を進めることが可能な内容となっている。 各章末の「学習を振り返ろう」のページでは、「章の問い」「節の問い」に基づいて学習を振り返るとともに、「学習の前に」で取り組んだ内容について振り返りながら、章の問いに対する自分の考えをまとめている。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めにある「学習のはじめに」のページでは、子どもの生活場面に即したマンガが掲載されており、「学び合い」で気付いたことを出し合っている。 1 単位時間の学習を立てたり、学習の見通しをもったりして「見方・考え方」が示されている。 1 単位時間の学習において、「確認」や「表現」で、学習を振り返り、考えたことを表現する場面が位置付けられている。 全てのページにおいて、「節の問い」が示されている。 各章末の「まとめとふり返し」のページでは、思考ツールを用いながら章の問いについて整理し、「学び合い」で他者との意見交換を通して、章の問いに対する自分の考えをまとめている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> 各章末の「学習の発展」のページで、五つから六つのテーマについて、400 字程度で表現する学習活動が示されている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> 各章の初めにある「〇〇の入り口」のページでは、現代の社会的事象に関する事例について、自分の意見を述べ合う学習が設定されており、協働的に学ぶことを通して疑問や気付きを生み、章の問いを捉えることが可能な内容となっている。 1 単位時間の学習において、「確認」と「探究」で学習を振り返り、考えたことを表現する場面が位置付けられている。 全てのページにおいて、「節の課題」が学習課題の近くに位置付けられており、「節の課題」を意識しながら学習を進めることが可能な内容となっている。 各章末の「〇〇のこれから」のページでは、その章で学んだことを深める学習活動が示されている。

調査研究項目 No.1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 資料の取扱い
調査研究の具体的内容	写真や絵図、統計などの資料や具体的な事例を基に、現代社会の見方・考え方を働かせながら、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な資料に、見方・考え方を働かせる視点の具体的な例を示すマークが掲載されており、生徒が自ら資料を読み解いたり、様々な側面や異なった立場から考察したりすることが可能な内容となっている。 ・特設ページ「もっと知りたい！」では、読み物資料を中心に様々な資料が掲載されており、章や節の学習内容を深め、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「18歳へのステップ！」では、実際の選挙の流れや契約における注意点など、成人年齢を迎える準備に当たる資料が掲載されており、主権者意識を高めることが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・「THINK!」のコーナーでは、グラフなど様々な資料が掲載されており、読み取った内容を基に考察し、自分の考えを表現することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「持続可能な社会に向けて」では、読み物資料を中心に、現代社会に見られる諸課題を取り上げた様々な資料が掲載されており、SDGsとの関連を明らかにしながら、「TRY!」で考察し、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっている。
国 帝	<ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方」を働かせて資料を読み取ることを促すために、「見方・考え方」のマークが示されている。 ・特設ページ「アクティブ公民」では、パフォーマンス課題を位置付けた事例が掲載されており、「TRY」で自分の考えをもち、意見交換することを通して、様々な側面や異なった立場から考察することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「18歳への準備」では、メディアリテラシーや契約、ライフプランなどの資料が掲載されており、「TRY」で具体的に考察することを通して、18歳に向けて実践的な知識・技能を身に付けることが可能な内容となっている。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・「アクティビティ」のコーナーでは、資料について見方・考え方を働かせながら、多面的・多角的に考察することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「チャレンジ公民」では、現代社会に関わる事例が掲載されており、そこで示される課題について考察し、表現することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「明日に向かって」では、バリアフリーや年金など、中学生の社会参画に関する資料が掲載されている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「もっと知りたい」や「ミニ知識」が掲載されることで、学習内容に関する理解を深めることが可能な内容となっている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・「見方・考え方」のコーナーに示された問いによって、資料を読み取り、学習を深めることが可能な内容となっている。 ・特設ページ「学習を深めよう」では、読み物資料を中心に、様々な資料が掲載されており、学習内容に関する理解を深めることが可能な内容となっている。 ・特設ページ「やってみよう」では、読み物資料を中心に、様々な資料が掲載されており、学習内容を深めたり、様々な側面や異なった立場から考察したりすることが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(1) アイヌ民族の人権に関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容		アイヌ民族の人権に関する課題を把握するとともに、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。	

調査研究結果	
発行者 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統文化の継承と新たな文化の創造」の学習では、アイヌ文化が日本の多様な伝統文化として記載されるとともに、アイヌ民族の伝統的な舞踊の写真が掲載されている。 ・「平等権」の学習では、導入資料としてアイヌ語を継承する取組が取り上げられ、アイヌ民族への差別の撤廃に関して記載されるとともに、「もっと知りたい」において民族共生象徴空間(ウポポイ)も取り上げられており、アイヌ民族の人権に関する課題を把握することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「先住民としてのアイヌ民族」では、明治時代からの同化政策と戦後の先住民族としての権利を求める取組などが取り上げられ、国際的な先住民族の権利への関心の高まりと関連付けながら考察することが可能な内容となっている。また、「公正」の観点から、アイヌ民族に対する政策の問題点について考える問いが設けられ、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統文化の継承と新たな文化の創造」の学習では、アイヌの古式舞踊の写真が掲載されている。 ・「平等権」の学習では、アイヌ民族への差別に関して記載されるとともに、民族共生象徴空間(ウポポイ)や国会で質問する萱野茂さんの写真が取り上げられており、アイヌ民族の人権に関する課題を把握することが可能な内容となっている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・「日本の文化とその継承」の学習では、地域に見られる日本の文化として、アイヌ文化について記載されている。 ・「平等権」の学習では、平等の実現に向けたアイヌ民族への取組が記載されるとともに、「未来に向けて」でアイヌ語を継承するために尽力した萱野茂さんが取り上げられており、アイヌ民族の人権に関する課題を把握することが可能な内容となっている。

日 文	<ul style="list-style-type: none">・「日本の伝統文化の特色と文化の創造」の学習では、国立アイヌ民族博物館の写真が掲載されている。・「平等権」の学習では、アイヌ民族への差別に関して記載されるとともに、萱野茂さんやアイヌ語弁論大会の写真が取り上げられており、アイヌ民族の人権に関する課題を把握することが可能な内容となっている。
自 由	<ul style="list-style-type: none">・職人の技が生み出した日本の伝統工芸品として、二風谷のアットウシの写真が掲載されている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none">・「日本の伝統文化」の学習では、アイヌの古式舞踊の写真が掲載されている。・特設ページ「『ともに生きる』ためにできること」では、アイヌ語とアイヌ文化の継承に大きな役割を果たした知里幸恵さんや、民族共生象徴空間(ウポポイ)について取り上げられている。

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 人間尊重の意識を醸成する学習の取扱い
調査研究の具体的内容	国籍や年齢の違い、障がいの有無、性などの人権に関する課題を把握するとともに、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「ちがいのちがいがいい」では、身近な人権課題に関する事例が取り上げられており、効率と公正の視点から考え、議論する活動が設定されている。また、章の最後には導入の活動で考察した「ちがいのちがいがいい」の事例について、根拠を基に自分の考えを説明する活動が設けられることで、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっている。 ・「平等権」の学習では、部落差別、在日韓国・朝鮮人への差別、男女平等、性の多様性や、障がいのある人や外国人に対する差別の現状といった人権に関する課題を把握するとともに、インクルージョンなどを例に、共生社会の実現のために私たちに求められることについて考察することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「だれもが暮らしやすい共生社会に」では、「個人の尊重」の観点から、障がいや多様な性の意識への配慮が必要であることについて説明する問いが設けられており、共生社会の実現について考察することが可能な内容となっている。 ・「基本的人権と個人の尊重」の学習では、四つの子どもの権利について、それぞれ詳しく記述されるとともに、こども基本法の一部が掲載されており、子どもの人権について理解することが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・「平等権」の学習では、部落差別、男女の平等、障がいのある人や外国人に対する差別に加え、コロナいじめなど近年見られる人権に関する課題なども掲載されており、課題を把握するとともに、その解決に向けて合理的配慮の観点も踏まえて考察することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「なぜ、差別は生まれるのだろうか」では、LGBTやハンセン病問題が取り上げられており、「TRY!」で他者と意見の交換を促す問いが設けられている。 ・「暮らしやすいまちづくりへ」の学習と、特設ページ「なぜ、『障がいの社会モデル』が注目されているのだろうか」では、ユニバーサルデザインやバリアフリーストラットランについての資料が取り上げられ、「TRY!」で共生社会を目指す上で考えるべきことについて自分の意見をまとめ、学校の外部への提案を促す学習が設定されており、人権を尊重する実践的態度を養うことが可能な内容となっている。 ・「人権侵害のない世界に」の学習では、四つの子どもの権利について、それぞれ詳しく記述されており、子どもの人権について理解することが可能な内容となっている。

帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・「平等権」の学習では、部落差別、ジェンダー、在日外国人などの人権課題について把握することが可能な内容となっている。 ・「人権を守るための権利と制度」の学習では、子どもの人権を守る制度が取り上げられており、「公民十」の資料から、人権を守るための権利について理解することが可能な内容となっている。
日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・「平等権」の学習では、部落差別、在日韓国・朝鮮人の差別、男女や多様な性、障がいのある人、外国人などの人権に関する課題を把握するとともに、「アクティビティ」で共生社会の実現について、不当な差別的取扱いの例や合理的配慮の例も踏まえながら、考察することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「まちのバリアフリーを探そう」では、実際に凹凸の付いた点字が掲載されている。 ・「国際的な人権保障」の学習では、「アクティビティ」で、四つの子どもの権利を含めた子どもの権利条約について詳しく記述されており、子どもの人権保障について考察することが可能な内容となっている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・特設ページ「権利の平等に関する問題」では、部落差別問題が取り上げられている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・「平等権」の学習では、男女、子ども・未成年、障害者、外国人、部落差別などの人権に関する課題を把握することが可能な内容となっている。 ・特設ページ『『ともに生きる』ためにできること』では、「TRY!」に設けられた問いによって、共生社会や差別について考察することが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.2	豊かな人間性や社会性を育む教育活動の推進	具体項目	(3) 多文化共生社会の実現に関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容	多文化共生社会の実現に向けた国際的な問題について把握するとともに、我が国の伝統と文化を大切にし、世界の人々の多様な生活や文化を尊重しながら社会に参画していこうとする実践的態度を養うことが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行 者 東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・「2 節 私たちの生活と文化」では、日本の多様な伝統文化や継承の課題、日本国内にも国際的な文化の広がりが見られることなどが取り上げられており、「トライ」で多文化共生社会を築くための具体的取組を考える問いが設けられることで、多様な生活や文化を尊重しながら社会に参画していこうとする実践的態度を養うことが可能な内容となっている。 ・特設ページ「伝統文化がつなぐ、過去と現在、人と人、そして世界中の人々の絆」では、男鹿のナマハゲが取り上げられており、日本の伝統文化を継承していく価値について考察することが可能な内容となっている。 ・「より良い地球社会を目指して」の学習では、フランスの大学生の事例など、複数の事例を通して国際的な問題を把握することが可能となっており、「みんなでチャレンジ」で、文化の多様性についてそれぞれの立場で考察する学習活動が設けられることで、多様な生活や文化を尊重しながら社会に参画していこうとする実践的態度を養うことが可能な内容となっている。
出 教	<ul style="list-style-type: none"> ・「伝統文化の継承と新たな文化の創造」の学習では、日本の伝統文化や多様な地域文化が見られること、異文化理解と日本文化の創造について取り上げられている ・特設ページ「なぜ、伝統や文化をつないでいく必要があるのだろう」では、五重塔の技術や在日外国人の地域活動など、具体的な事例が取り上げられており、日本の伝統や文化をつないでいくことについて考えを深めることが可能な内容となっている。
国 帝	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル化が進む現代」の学習では、多文化共生に向けて太田市が取り組んでいる国際教室の事例が取り上げられており、多文化共生社会が求められている現状について把握することが可能な内容となっている。 ・「第2 節 私たちの生活と文化」では、世界に様々な文化が存在することや異文化理解、日本の文化の特色、伝統文化の継承について取り上げられている。 ・特設ページ「伝統を受け継ぎアップデートしていく」では、伝統文化の継承の必要性に関わって、狂言が取り上げられている。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・「グローバル化する社会で生きる私たち」の学習では、多文化共生社会と国際協力について取り上げられている。 ・「第2節 現代社会の文化と私たち」では、日本の伝統文化やグローバル化の影響について取り上げられており、文化の多様性の尊重が多文化共生社会をつくる基盤であると記述されている。 ・「世界のさまざまな文化や宗教の学習」では、文化と宗教の多様性について記載されている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「文化の継承と創造」の学習では、日本が伝統文化の上に異文化を受け入れてきたことについて記載されている
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・「第2節 現代社会の文化と私たちの生活」では、日本の伝統文化や異文化理解、多文化共生社会について取り上げられており、異文化理解力・対応力の国際比較の資料を通して、日本の課題を把握することが可能な内容となっている。 ・「文化と宗教の多様性」の学習では、多文化交流会のイベントの様子が取り上げられており、「確認」で文化の多様性を尊重すべき理由を考察することが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(1) 未来の札幌を考える「環境」の取扱い
調査研究の具体的内容	環境と社会生活等との関連や環境保全に関わる行政等の取組について理解するとともに、持続可能な社会を形成するという観点から環境に関わる諸問題について考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者	
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を守り、公害の無い社会を目指す取組として、名古屋市の藤前干潟や水俣市の事例が取り上げられており、環境保全に関わる行政等の取組について理解することが可能な内容となっている。 ・「公害の防止から循環型社会の形成へ」の学習では、政府・企業・個人の立場から、循環型社会に向けてどのような取組ができるかについて考える学習が設定されており、「持続可能性」の観点から、考察したことを自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。 ・「地球環境問題」の学習では、「みんなでチャレンジ」で、温室効果ガスの排出削減について、先進国と途上国の立場で考察し、議論する学習が設定されており、持続可能な社会を形成するという観点から環境に関わる諸問題について考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「これからの日本のエネルギーを考える」の学習では、主な発電方法の利点と課題を比較して考える学習が設定されており、「持続可能性」の観点から、日本のエネルギー政策の在り方について考察することが可能な内容となっている。
教 出	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と社会生活等の関連について、北九州市のエコタウンや、水俣市のごみ分別、徳島県上勝町のゼロ・ウェイスト宣言の事例が取り上げられており、環境保全に関わる行政等の取組について理解することが可能な内容となっている。 ・「『生命の星』を守るために」の学習では、地球環境に関わる諸問題についての記載や、二酸化炭素の国別の排出量に関するグラフを読み取る学習が掲載されている。
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全や脱炭素社会に向けた取組として、相模原市の焼却炉や、横浜市のコミュニティサイクル、宮古島市の再生可能エネルギーの事例が取り上げられており、環境保全に関わる行政等の取組について理解することが可能な内容となっている。 ・「第2節 地球的課題とその解決」の学習では、地球環境問題や、エネルギー資源の確保、脱炭素社会について、行政等の取組が取り上げられ、それぞれ解決に向けた支援策の提案について考える学習が設定されており、環境に関わる諸問題について考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs と未来の社会に向けた取組として、東京都の環境都市宣言に基づいた取組や、神奈川県マイクプラスチックへの取組が取り上げられており、環境保全に関わる行政等の取組について理解することが可能な内容となっている。 ・資源とエネルギー、環境問題と国際協力の学習では、それぞれ「アクティビティ」で、発電方式の長所・短所や温室効果ガスの排出削減をめぐる対立について考える学習が設定されており、多面的・多角的に考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。 ・特設ページ「地球温暖化に対する政策について考えよう」では、環境問題に対する政策を発表した政党を選ぶ学習活動が設定されており、政治の取組と環境問題の解決について考察し、自分の言葉で表現することが可能な内容となっている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全のための日本の法整備や、地球規模の環境問題の実態と国際社会の取組について記載されている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・環境保全に関わる取組について、コンビニのフードドライブの活動や、紙ストローの使用が取り上げられている。 ・「地球規模の環境問題」の学習では、京都議定書とパリ協定の違いを調べたり、家庭でできる取組を考えたりする学習が設定されており、自分事として環境についての課題を捉え、表現することが可能な内容となっている。

調査研究項目 No.3	ふるさと札幌の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の推進	具体項目	(2) ふるさと札幌を心にもつ学びに関わる学習の取扱い
調査研究の具体的内容	<p>地方自治の発展に寄与しようとする意識を高めることにより、将来、自立した札幌人として、地域社会に関わろうとする意欲や態度を育むことが可能な内容となっているか。</p>		

調査研究結果	
発行 者 東 書	<ul style="list-style-type: none"> 市議会が訴える中学生の様子や、遊佐町の少年議会の取組、神辺町の中学生が地域課題を探究する活動が取り上げられており、10代の社会参画の様子について理解することが可能な内容となっている。 T市の新しい公園の使用ルールについて、効率と公正の視点から考える学習や、バイパス建設の是非について、公共の福祉の視点から考える学習が設定されており、自分たちの住む町において発生することが考えられる課題の解決について、多面的・多角的に考察するとともに、地域社会に関わろうとする意欲や態度を育むことが可能な内容となっている。 地方自治の学習では、札幌市の「市民の声を聞く課」が取り上げられている。
出 教	<ul style="list-style-type: none"> 中学生による請願の様子や、浜松市の中学生が議会で意見する写真が取り上げられており、10代の社会参画の様子について把握することが可能な内容となっている。 「地域のルールをつくるには」の学習では、地域のルールについて、効率と公正の視点から考える学習が設定されており、自分の通う学校が避難所になったらという想定などを通して、地域社会に関わろうとする意欲や態度を育むことが可能な内容となっている。 地方自治の学習では、北海道を含めた各地の条例や法定外税、自治体の地域活性の取組が取り上げられており、自分たちの地域の課題について考察することが可能な内容となっている。
国 帝	<ul style="list-style-type: none"> 中学生の政治参加の方法について考える学習や、高校生による請願の様子などが取り上げられており、10代の社会参画の様子について理解することが可能な内容となっている。 防災備蓄倉庫をどこに新設すればよいか考える学習や、バイパス建設による青果店の立ち退きについて考える学習、赤字バス路線の維持が廃止かについて考える学習が設定されており、自分たちが住む町において発生することが考えられる課題の解決について、多面的・多角的に考察するとともに、地域社会に関わろうとする意欲や態度を育むことが可能な内容となっている。

日 文	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生による請願の様子や、船橋市の「こども未来会議室」の取組が取り上げられており、10代の社会参画の様子について理解することが可能な内容となっている。 ・地域の公園づくりについて考える学習や、道路の拡張計画について考える学習が設定されており、自分たちが住む町において発生することが考えられる課題の解決について、多面的・多角的に考察するとともに、地域社会に関わろうとする意欲や態度を育むことが可能な内容となっている。 ・地方自治の学習では、函館市の地区再整備事業や北海道を含めた各地の条例が取り上げられており、自分たちの地域の課題について考察することが可能な内容となっている。
自 由	<ul style="list-style-type: none"> ・「魅力あるまちづくりを考えよう」の学習では、合意形成を図りながら、自分たちが住む地域の課題を捉え、解決策を考えていくことが可能な内容となっている。
育 鵬	<ul style="list-style-type: none"> ・政治分野の導入の学習では、救急車の出動回数などの資料を基に支持する議員を選ぶ学習が設定されており、自分たちが住む町の課題を意識しながら学習することが可能な内容となっている。

札幌市として設定する調査研究項目

教科	社会	種目	地図
----	----	----	----

No.	調査研究項目＜設定の理由＞	具体項目	調査研究の具体的内容
1 共通項目	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進 ＜設定の理由＞ ・「札幌市教育振興基本計画」の「施策」に「さっぽろっ子『学ぶ力』の育成プランの推進」を位置付けるとともに、「札幌市学校教育」において、「課題探究的な学習」を重点として位置付けている。	(1) 地域社会の社会的事象に関わる教材の取扱い	身近な地域への興味・関心を高めるとともに、位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉えることが可能な内容となっているか。
		(2) 資料の取扱い	地図と併せて、写真や統計資料、挿絵など、各種の具体的、基礎的資料が活用でき、社会的な見方・考え方を働かせながら、学習活動を進めることが可能な内容となっているか。

調査研究項目 No.1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(1) 地域社会の社会的事象に関わる教材の取扱い
調査研究の具体的内容	身近な地域への興味・関心を高めるとともに、位置や空間的な広がりに着目して社会的事象を捉えることが可能な内容となっているか。		

調査研究結果	
発行者 東 書	<p>・北海道地方においては、縮尺 100 万分の 1 の北海道地方南部を 3 ページ分と北海道地方北部を 1 ページ分、縮尺 50 万分の 1 の札幌とその周辺、縮尺 5 万分の 1 の札幌市中心部を 1 ページ分、縮尺 200 万分の 1 の北海道全図、700 万分の 1 の千島列島を 2 ページ分の計 7 ページに渡って掲載されており、北海道地方の各地域と地域全体、北海道の中心都市である札幌市への興味・関心を高め、位置や空間的な広がりをつまえることが可能な内容となっている。</p> <p>・北海道地方の資料として、「地形（東西方向の断面図含む）」「降水量」「人口分布」「土地利用」「工業・交通」「地形と自然災害」「北海道で見られるさまざまな気象」「農業と畜産業」「漁業」「稲作の北限の変化」「明治時代の開拓とアイヌ語由来の地名」の 11 種類の主題図が掲載されており、北海道地方を多面的な視点で捉えることが可能な内容となっている。</p>
帝 国	<p>・北海道地方においては、縮尺 100 万分の 1 の北海道地方南部を 3 ページ分と北海道地方北部を 1 ページ分、縮尺 50 万分の 1 の札幌とその周辺、縮尺 5 万分の 1 の札幌市中心部を 1 ページ分、縮尺 200 万分の 1 の北海道全図、700 万分の 1 の千島列島を 2 ページ分の計 7 ページに渡って掲載されているとともに、畑作や酪農といった産業、北方領土等に関する補足資料が掲載されており、北海道地方の各地域と地域全体、北海道の中心都市である札幌市への興味・関心を高めて、位置や空間的な広がりをつまえることや生活や産業の特色を理解することが可能な内容となっている。</p> <p>・北海道地方の資料として、「自然（東西方向の断面図含む）」「降水量」「人口分布」「農業」「工業・交通」「アイヌ語地名と開拓の歴史」「おもな漁港の水揚げ量と養殖」「石狩地方の土地改変」「自然を生かした観光」に加え、防災の観点から「札幌市の雪への備え」、環境の観点から「釧路湿原」の 11 種類の主題図、鳥瞰図、地形図が掲載されており、北海道を多面的な視点で捉えることが可能な内容となっている。</p>

調査研究項目 No.1	主体的に考え行動する力を育む教育活動の推進	具体項目	(2) 資料の取扱い
調査研究の具体的内容	地図と併せて、写真や統計資料、挿絵など、各種の具体的、基礎的資料が活用でき、社会的な見方・考え方を働かせながら、学習活動を進めることが可能な内容となっているか。		

発行者	調査研究結果		
東 書	<ul style="list-style-type: none"> ・地図帳を深く読み取るヒントとなる問いとして「Bee's eye」が掲載されており、1枚の図を見て取り組む問い全37問、自ら調べたり考えたりする問い全23問を設定することで、地理的な見方・考え方を働かせ、地図を活用する技能を高め、社会科学の学習を深めることが可能な内容となっている。 ・各ページにおいて、「歴史や公民との関連」「他の資料との関連（ジャンプ）」を示すマークがそれぞれ掲載され、複数の資料と関連付けながら学習を深める事が可能な内容となっている。 ・持続可能な社会の学習に向けて「SDGsの17のゴール」について詳しく掲載されており、持続可能な社会について考えるきっかけとなる内容となっている。 ・世界の統計資料において、世界の国の統計表と30品目の世界の農産物、鉱産資源、工業製品の生産のグラフを掲載しており、世界の諸地域への理解を深めることが可能な内容となっている。 		
帝 国	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学習に取り組むための問いとして「地図で発見」が103か所156問掲載されており、地理的な見方・考え方を働かせ、地図を活用する技能を高め、社会科学の学習を深めることが可能な内容となっている。 ・各ページにおいて、「リンク」「主題学習」「SDGs防災」「SDGs環境」「SDGs日本との結びつき」「他分野との関連アイコン」を示すマークが掲載されているとともに、SDGsや他分野との関連が見られるページにおいては「もくじ」でも示されており、複数の資料と関連付けながら学習を深めることが可能な内容となっている。 ・巻頭の特集ページにおいて、環境問題や紛争問題に関する諸課題について「地図で考える持続可能な社会」として主題図と併せて、写真やグラフを用いて持続可能な社会の実現に向けて考察することが可能な内容となっている。 ・世界の統計資料において、国別統計と43品目の世界の主な農林水産物・食料品、鉱産資源・工業製品の生産のグラフが掲載されているとともに、自然の統計や持続可能な社会を考える統計についても記載されることで世界の諸地域への理解を深めることが可能な内容となっている。 		

社 会

(地理的分野)

社会の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>[地理的分野]</p> <p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数 115単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1・2学年 地理的分野	地理・002-72	新編 新しい社会 地理
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の人口、面積、国境などから地域構成を大観したり、信仰する宗教との関係などの国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、6つの事例地域と東京の雨温図の違いに着目して人々の生活の様子を考察したり、異なる自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や歴史、産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アジア州では、「経済発展は、地域にどのような影響をあたえているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、兵庫県神戸市を例に、自然環境や人口、産業、交通等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、産業、交通・通信、生活・文化から7つの地方の地域的特色をとらえたり、「近畿地方の都市と農村は、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、広島県広島市を例に、地域の特色や課題を調べ、課題の解決策を構想、議論、提案したり、身近な地域の将来像について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習の導入部に、生徒の興味・関心を引き出す「導入資料」を設けたり、小集団での参加型学習である「みんなでチャレンジ」を配置し、グループで対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、各単元の導入部において、小学校社会科で学習した内容を用語や写真で振り返るページを設けるとともに、写真や雨温図などの資料の読み取りや、地域の調査や分析の手法を活用する場面を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
		<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然の特色を生かした産業や、今に受け継がれるアイヌ民族の文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元を貫く「探究課題」を設定する活動や、1時間の学習課題を解決する「チェック&トライ」、単元を振り返る活動「探究のステップ」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方と学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第1・2学年 地理的分野	地理・017-72	中学社会 地理 地域にまなぶ
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口などから地域構成を大観したり、国旗や国名に織り込まれている文化や歴史から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地の位置関係や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の衣服・食事・住まいや言語・宗教に着目して人々の生活の様子を考察したり、世界各地の自然・社会条件と労働とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や他地域との結びつきから州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、ヨーロッパ州では、「なぜ、国々の結びつきが強まったのか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、愛知県名古屋市を例に、歴史・文化、交通、商業等、適切な主題を設けて追究したり、観察や聞き取り調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、地形、自然災害と防災、開発と環境保全の取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「九州地方における自然環境とその保全」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、熊本県水俣市を例に、地域の特色や課題の背景、現状を調べ、調査結果を発表、共有したり、望ましい地域の在り方について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、授業の導入の場面で、生徒の興味・関心が高まるような写真・図版を提示したり、本時の学習内容を確認し、自分の言葉で表現する「確認」「表現」のコーナーを配置して、他者と交流したりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、巻頭の「地理にアプローチ」において、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方などを振り返る活動を位置付けるとともに、「地域の在り方」では、発表会に地域の方々を招いて意見を提案しようとするなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
		<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした産業や、持続可能な社会づくりの視点からアイヌ民族の文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 1時間の授業の見通しを分かりやすく示した「学習課題」や、章・節の学習を振り返るページ「学習のまとめと表現」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		46・帝国	第1・2学年 地理的分野	地理・046-72	社会科 中学生の地理 世界の姿と日本の国土
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、世界の国々や都市の位置から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、世界各地の衣食住に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や歴史・文化、産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、南アメリカ州では、「農地や鉱山の開発による地域への影響」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、東京都練馬区を例に、自然環境や人口、都市・村落、産業等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、産業、交通、通信などの特徴をとらえたり、防災・減災のために行われている取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、生活・文化、産業などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「中部地方の産業は、自然環境や交通網の整備を背景に、どのように変化してきたか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、兵庫県神戸市を例に、収集した資料や情報を基に地域の魅力と課題を分析し、要因を考察したり、構想した解決策について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、単元のはじめに、大判な写真から地域を概観する「写真で眺める」を設定したり、単元のまともに「学習を振り返ろう」を配置し、思考ツールを活用して他者と対話したりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、脚注欄に、小学校で学習した内容を確認できるように関連用語を提示するとともに、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを考える「未来に向けて」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
		<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然を生かした観光産業や、自然と共に生きるアイヌ民族の生活や文化を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章・節・各本文において、学習する内容を示した「章・節の問い」「毎時の学習課題」や、末尾に「学習を振り返ろう」「確認しよう」「説明しよう」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		116・日文	第 1・2 学年 地理的分野	地理・116-72	中学社会 地理的分野
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 地理的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世界の地域構成」において、世界各国の面積や人口、国境などから地域構成を大観したり、国名や国旗の意味から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動 ・「日本の地域構成」において、地球儀や地図を活用して、日本と世界各地との時差や都道府県の名称、位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動 ・「世界各地の人々の生活と環境」において、人々の生活とその場所の地形や気候、社会の様子に着目して人々の生活の様子を考察したり、自然環境や宗教とのかかわりから生活や環境の多様性を理解したりする活動 ・「世界の諸地域」において、世界の各州の自然環境や産業から州ごとの地域的特色を大まかにとらえたり、アフリカ州では、「資源などにたよる経済をどのように克服しようとしているか」という主題を設けて地理的特色を理解したりする活動 ・「地域調査の手法」において、京都府京都市を例に、自然環境、人口や都市・村落、産業、交通・通信等、適切な主題を設けて追究したり、野外観察や聞き取り調査、文献調査、統計調査を取り入れ、調査を行う際の視点や方法を理解したりする活動 ・「日本の地域的特色と地域区分」において、自然環境や人口、資源・エネルギーと産業、交通・通信の特色をとらえたり、防災・減災のための取組を理解したりする活動 ・「日本の諸地域」において、自然環境、交通・通信、歴史的背景などから7つの地方の地域的特色をとらえたり、「関東地方の人口分布にはどのような特色があり、何が課題になっているか」という主題を設けて地域の課題を理解したりする活動 ・「地域の在り方」において、宮崎県宮崎市を例に、地域の魅力を高めるために、課題の解決策を考察し、情報を集めて構想したり、よりよい地域の将来像について話し合ったりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、学習したことを生かして、生徒が自分で考えたり、対話したりするための具体的な問いや活動を提示する「議論してみよう」を設けたり、「学び合い」マークを配置し、グループで話し合ったりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「学習のはじめに」や本文、脚注の「連携コーナー」に、小学校社会科の学習内容を提示するとともに、地理的分野の学習に必要な地理的技能を習得する「スキルUP」を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
		<p>○ 「日本の諸地域」において、北海道における自然環境を生かした観光や、アイヌの人々の生活や文化、アイヌ語に由来する主な地名を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 導入ページに、単元を貫く問いを設定する「学習のはじめに」「節の問いを立てよう」や、各単元末に「まとめとふり返り」を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、教科書全体を通してユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 3

< 地理的分野の具体的な調査項目 >

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <p>① 大項目（「世界と日本の地域構成」「世界の様々な地域」「日本の様々な地域」）ごとのページ数及び総ページ数</p> <p>② 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数</p> <p>③ 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する地理的事象）を取り上げているページ数及び箇所数</p> <p>(1) 「日本の諸地域」における北海道地方のページ数</p> <p>(2) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数</p> <p>(3) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数</p> <p>(4) 道内の市町村等を取り上げている箇所数</p> |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|---|
| <p>① 学習指導要領に示されている地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。</p> <p>② 現代的な諸課題の一つである防災・安全への対応について、その解決に向けて構想する教育を充実することが求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。</p> <p>③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。</p> |
|---|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	東書	教出	帝国	日文
①	大項目ごとのページ数及び総ページ数	世界と日本の地域構成	ページ数	26	19	24	24	
			全体に占める割合	9%	6%	8%	8%	
		世界の様々な地域	ページ数	110	103	102	104	
			全体に占める割合	37%	33%	33%	33%	
		日本の様々な地域	ページ数	136	157	166	163	
			全体に占める割合	47%	51%	53%	51%	
		その他	ページ数	22	31	18	27	
			全体に占める割合	7%	10%	6%	8%	
		総ページ数			294	310	310	318
		前回の総ページ数			302	308	310	298
		増減			-3%	1%	0%	7%
②	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数			43	34	42	45	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数 (※1)	「日本の諸地域」における北海道地方のページ数		12	16	16	16	
		アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数		5	11	6	3	
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数		9	14	5	8	
		道内の市町村等を取り上げている箇所数		125	166	145	137	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※ 1) 調査項目③の道内の市町村等については、本文、脚注、写真、地図、表などの箇所を対象とした。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方（P256）	囲み	アイヌの人々の歴史や文化
		北海道地方（P258）	本文	先住民族であるアイヌの人々は、自然に根差した生活・文化を確立してきました。
			写真	アイヌの伝統的な祭り
		北海道地方（P266）	囲み	ワードチェック（アイヌの人々）
		北海道地方（P267）	囲み	今に受け継がれるアイヌの文化
			写真	アイヌ語が由来になったとされる川の名前を解説する看板
東 書	北方領土	世界と日本の地域構成（P8）	写真	根室から見える歯舞群島
			地図	国土の広がりと周りの国々（択捉島）
		日本の領域の特色（P27）	写真	日本の北端（択捉島）
		北方領土・竹島と尖閣諸島（P28）	囲み	北方領土・竹島と尖閣諸島
			地図	竹島、尖閣諸島、北方領土の位置
		北方領土・竹島と尖閣諸島（P29）	地図	北方領土周辺の地形
			地図	歯舞群島がのる20万分の1地勢図
			写真	北海道の根室半島上空から見た歯舞群島
			写真	自然環境にめぐまれた択捉島
			囲み	貴重な自然が残る北方領土
			本文	北海道東方の歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は北方領土とよばれ、根室市などに属する日本固有の領土です。
		もっと知りたい アジアとヨーロッパにまたがる国 ロシア（P91）	本文	となり合う日本とは、北方領土をめぐる問題も残されています。
		人口から見た日本の特色（P170）	地図	日本の老年人口の割合（北海道の割合は、北方領土をふくまない）
		北海道地方（P257）	地図	北海道地方の自然（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		北海道地方（P258）	地図	北海道地方の人口と交通（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		北海道地方（P261）	本文	一方、ロシアとの間では、北方領土をめぐる領土問題が解決していないため、漁場や操業権をめぐって緊張関係も続いています。
教 出	アイヌの人たちの歴史	さまざまな言語と人々の暮らし（P39）	本文	独自の文化や言語をもつ先住民であるアイヌ民族も暮らしています。
		日本のさまざまな地域（P131）	本文	特設 アイヌ民族の文化に学ぶ
		日本の諸地域（P171）	表	主なキーワード アイヌ民族
		東北地方（P253）	地図	ユネスコに登録された日本の無形文化遺産の分布（アイヌ古式舞踊）
		北海道地方（P262）	写真	ウポポイの開業時に披露されたアイヌ民族の舞踏

史・文化等		写真	松浦武四郎の像（松浦は、アイヌ民族とともに蝦夷地を探検し、「北海道」の地名を発案しました。	
	北海道地方（P264）	本文	江戸時代まで北海道は蝦夷地とよばれ、先住民のアイヌ民族が生活していました。	
		地図	アイヌ語に由来する主な地名	
	北海道地方（P265）	本文	松前藩は、アイヌ民族に対する支配を強めていきました。	
	北海道地方（P274）	本文	先住民であるアイヌ民族が暮らす土地	
		囲み	ワードチェック（アイヌ民族）	
	北海道地方（P276）	囲み	アイヌ民族の文化に学ぶ	
		本文	アイヌ民族の生活と近代化の歩み アイヌ文化の継承と新たな文化のかたち	
		写真	アイヌ語地名も平等に併記されている看板	
		写真	「さっぽろ雪まつり」で展示された、ウポポイとコタンコロカムイ（シマフクロウ）の雪像	
	北海道地方（P277）	本文	2019年には、アイヌ民族を初めて「先住民」と明記した「アイヌ新法」が成立しました。	
		写真	ムックリ（口琴）を奏でる	
		写真	アイヌ文化発信空間のオープンイベントの様子	
		写真	先住民音楽祭でのアイヌ音楽の演奏	
		写真	「ウポポイ」内の展示の様子	
	囲み	アイヌ民族の歴史と現状をふまえ、アイヌ民族との共生のあり方を考えましょう。		
北海道地方（P278）	表	日本の地域にみられるさまざまな課題例（北海道地方 アイヌ民族の文化を伝える）		
教出	北方領土	地図	日本の領土・領海と排他的経済水域（国土の北端 択捉島）	
		本文	北方領土をめぐる問題	
			地図	北方領土とその周辺
			写真	ビザなし交流で根室港に到着したロシア側からの訪問団
			表	北方領土に関する主なできごと
		日本の領土をめぐる（P21）	地図	南東を上にして、日本海周辺を描いた地図（北方領土）
		第1編の学習を振り返って整理しよう（P24）	囲み	ワードチェック（北方領土）
		ヨーロッパ州（P75）	本文	北方領土をめぐる問題などはいまだに解決されておらず、大きな課題となっています。
		四季のある気候（P154）	地図	サクラが開花する時期の違い（北方領土などいくつかの島については、資料なし）
		人口分布のかたよりがもたらす問題（P162）	地図	日本の人口密度の分布（北方領土はデータなし）
		人口分布のかたよりがもたらす問題（P163）	地図	都道府県の人口増減率（北方領土はデータなし）
			地図	将来の都道府県別の老年人口率（北方領土はデータなし）
		第2章の学習を振り返って整理しよう（P170）	地図	日本の人口密度の分布（北方領土はデータなし）
		中部地方（P226）	地図	日本の最深積雪量の分布（北方領土は資料なし）
	北海道地方（P264）	本文	北海道の東部には、阿寒湖の周辺から知床半島へと火山が列のように並び、国後島や択捉島まで続きます。	

帝国	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道地方 (P265)	地図	北海道地方の地勢（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		北海道地方 (P266)	地図	各地で異なる北海道の積雪量（北方領土は資料なし）
		北海道地方 (P276)	地図	「ベツ（ペツ）」「ナイ」（「川」の意味）がつく地名の分布（国後島、択捉島）
		北海道地方 (P265)	地図	アットゥシ織とアイヌの踊り
		北海道地方 (P272)	本文	このような土地で、もともとアイヌ民族が狩猟・採集や漁を行いながら暮らしてきました。
		北海道地方 (P273)	囲み	開拓の中心地として発達した札幌（札幌には、アイヌ民族の集落がありました。）
		北海道地方 (P277)	囲み	野生動物との共存を目指して（アイヌ民族は、エゾヒグマをキムンカムイ（山の神）とよび、神様の化身として大切にし、毛皮や肉は「神様から人間への贈り物」として利用してきました。）
			本文	また、自然と共生してきたアイヌ民族の文化を学べる施設であるウポポイ（民族共生象徴空間）が2020年に開業しました。
		北海道地方 (P278)	囲み	節の重要語句（アイヌ民族）
		多様な文化を大切にする取り組み（P280）	囲み	自然と共に生きるアイヌ民族を例に
			囲み	2019年に、古くから北海道に住んでいたアイヌ民族を「先住民族」と明記する法律が成立しました。
			写真	豊漁と漁の安全を祈るアイヌの伝統的な儀式
			地図	アイヌ語に起源をもつ北海道の地名
			写真	アイヌの伝統的工芸品、アットゥシ織の着物とアットゥシを織る人
			写真	アイヌ語地名と現在の地名を併記した標識
			本文	アイヌ民族は、古くから北海道とその周辺地域に住み、自然と共生した暮らしを営んできました。
帝国	北方領土	日本の領域とその特徴（P18）	地図	日本の東西南北の端と排他的経済水域の範囲（択捉島）
			写真	択捉島
		日本の領域とその特徴（P20）	写真	北方領土の島々
			写真	日本国民と北方領土に住むロシア人との交流
			地図	北方領土周辺の国境の移り変わり
			本文	北海道の北東部にある歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は、北方領土とよばれ、北海道根室市などに属する日本固有の領土です。
			囲み	北方領土の4島はその放棄地に含まれていないという立場をとっています。
		学習を振り返ろう（P25）	地図	日本の排他的経済水域の範囲（択捉島）
		北海道地方（P265）	地図	北海道地方（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		北海道地方（P268）	地図	北海道地方の自然（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
日文	アイヌの人	北海道地方（P278）	本文	アイヌの人々から学ぶ自然環境との共生
			写真	人や物資を運ぶのに使う舟の安全を祈願するアイヌ民族の伝統的な儀式
			写真	ウポポイ（民族共生象徴空間）の中にある国立アイヌ民族博物館を見学する人々

た ち の 歴 史 ・ 文 化 等		地図	アイヌ語に由来する主な地名	
	北海道地方（P279）	本文	2020年には、アイヌ民族の歴史や文化を復興し、新たな文化を創造するための拠点として、白老町にウポポイ（民族共生象徴空間）がつけられそのなかに国立アイヌ民族博物館がオープンしました。	
	北海道地方（P280）	囲み	キーワード（アイヌ民族）	
日 文	北 方 領 土	日本の領域の特色をとらえよう (P18)	写真	国土の北端（択捉島）
		日本の領域の特色をとらえよう (P19)	地図	日本の領域と排他的経済水域（国土の北端 択捉島）
		日本の領海をめぐる問題をとらえよう（P20）	本文	北方領土は、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島からなる日本固有の領土です。
			地図	北方領土・竹島・尖閣諸島の位置
			地図	北方領土付近の国境の変化
		日本の領海をめぐる問題をとらえよう（P21）	本文	北方領土と竹島の領土問題を国際社会に訴え、平和的な解決をめざしています。
			写真	羅臼町から見た国後島
			写真	元島民らによる洋上からの先祖の慰霊（国後島）
			写真	北方領土・竹島・尖閣諸島などに関する資料を展示する国立の施設「領土・主権展示館」
			囲み	確認（北方領土・竹島・尖閣諸島にともなう排他的経済水域を地図帳で確認しましょう。）
		日本の地域的特色と地域区分 (P144)	地図	日本の主な山地・島（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		地形からみた日本の地域的特色と地域区分（P146）	地図	日本の主な山地・島（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		北海道地方（P268）	本文	東部には、日本の最北端の択捉島を含む北方領土の島々があります。
			囲み	択捉島・国後島の大きさをはかって、日本の主な島や東京都・大阪府と比べましょう。
			地図	北海道地方の地形（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）
		北海道地方（P280）	囲み	日本の最北端の択捉島を含む北方領土の島々がある。
			囲み	キーワード（北方領土）

社 会
(歷史的分野)

社会の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>第1 目標</p> <p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>〔歴史的分野〕</p> <p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとする大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。</p>

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数 135単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・002-72	新編 新しい社会 歴史
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財、出来事に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、福岡や福井の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや問いを設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、貴族と庶民の生活に相違が出た理由を考察したり、単元のまとめでは「古代の日本ではどのように国家が形成されたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特色に着目して、貴族の邸宅と武士の館を比較し違いを考察したり、単元のまとめでは「武士の支配が広がり社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の支配の仕組みに着目して、地図で大名の配置を読み取り、その理由を考察したり、単元のまとめでは「近世の日本では社会にどのような変化が見られたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の諸改革の目的に着目して、アイヌの人々と琉球の人々への対応の共通点を考察したり、単元のまとめでは「近代化で日本はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、戦後の政治の展開と国民生活の変化に着目して、日本復興を象徴する出来事を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本は何をきっかけに成長したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、近世の社会の様子学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、屏風絵等の複数の資料を比較し、時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史へのとびら」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 江戸時代の最上徳内、近藤重蔵、間宮林蔵らの北方探検の地図を掲載して、その行程を紹介したり（全学年）、「アイヌ文化とその継承」として、儀式や生活の様子などの資料を掲載して、アイヌ文化の成立と展開、アイヌ文化継承の動きを説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「チェック＆トライ」で一単位時間の学習の最後に振り返る活動（全学年）や、「みんなでチャレンジ」で他者の意見を取り入れ、自分の意見を調整する活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・017-72	中学社会 歴史 未来をひらく
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、できごとなどに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、鎌倉や名古屋の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法や発表方法を示した地域調査の手引きから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、律令制のもとの暮らしを考察したり、単元のまとめでは「国はどのように生まれたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の文化の変化に着目して、社会の変化との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「武士と民衆の成長によって、社会はどのように変化したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の国際関係に着目して、鎖国のもとの世界との結び付きを考察したり、単元のまとめでは「近世の日本はどのような政治のしくみをつくったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の政策に着目して、アイヌ民族や琉球の人たちへの影響を考察したり、単元のまとめでは「近代の日本では政治・社会・文化はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、国際社会での我が国の役割に着目して、平和な世界を築く取組を考察したり、単元のまとめでは「戦後、日本は世界とどう関わり、社会をどう変化させたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の日本と世界の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、絵巻物を中心に複数の資料を比較し、人々の生活の様子について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方・調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 江戸時代に函館に来航したペリー艦隊の航路や函館にある来航記念碑の資料を掲載して、函館寄港の際のエピソードを紹介したり（全学年）、アイヌの人たちの言葉や文化について、神話の資料を掲載して、現在までアイヌ文化を伝えてきた人々の努力を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で一単位時間の学習内容を振り返って整理する活動（全学年）や、「表現」で学習内容を図に表したり、自分の言葉で説明したりする活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		46・帝国	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・046-72	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、博多や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、前方後円墳の役割を考察したり、単元のまとめでは「古代の社会にはどのような特色があったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、貴族と比較して武士の暮らしの特徴を考察したり、単元のまとめでは「武士による政治で社会がどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の人々の考えや幕府の方針に着目して、江戸時代の政治や社会の特色を考察したり、単元のまとめでは「全国を統一する政権の誕生で社会がどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治維新と近代国家の形成に着目して、明治政府の国づくりの進め方を考察したり、単元のまとめでは「近代国家の建設を目指し社会はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、高度経済成長、東京オリンピックの意義を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本の社会はどのように変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		内容の構成・排列	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、江戸時代の町人文化の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、イラスト等の複数の資料を基に江戸の人々の暮らしについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方と調べ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。		
使用上の配慮等		○ 屯田兵による開拓や開拓使による札幌の建設、官営工場の設置などの北海道の開拓を紹介したり（全学年）、「アイヌ民族の暮らし」として、儀式や生活の様子、言葉などの資料を掲載して、アイヌ民族の生活の様子や交易を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「説明しよう」で説明する活動を通して学習を振り返る活動（全学年）や、「アクティブ歴史」で自分の意見をまとめたり、他者と意見を交換したりする活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		81・山川	第1・2・3 学年 歴史的分野	歴史・081-72	中学歴史 日本と世界 改訂版
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史を大きく変えた人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、考古学や政治、社会、年号による時代区分についてのまとめや年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、平泉や金沢の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査方法やレポートの作成方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、平安時代の東アジアとの交流に着目して、文化の国風化を考察したり、単元のまとめでは「平安時代になると、社会はどのように変化したのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の武家政治の展開に着目して、幕府の仕組みや守護の役割の変化を考察したり、単元のまとめでは「宗教の果たした役割を考えてみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸時代の対外関係に着目して、経済的な発展や文化の形成を考察したり、単元のまとめでは「社会や経済の変化に対して、幕府はどのように対応したのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、明治政府の外交の展開に着目して、国際関係の変化を考察したり、単元のまとめでは「明治政府はどのような近代国家をつくらうとしていたのだろうか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本国憲法と日本の民主化に着目して、国際関係の変化と日本の外交を考察したり、単元のまとめでは「冷戦下の世界で起こった戦争の特徴は何だろう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、日露戦争と東アジアの学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、風刺画や地図などの様々な資料を基に日露戦争が与えた影響について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史との対話」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 明治時代の札幌の地図やクラークの資料を掲載し、開拓の歴史などから札幌について考える課題を位置付けたり（全学年）、「アイヌ民族の歴史と文化について、アイヌ民族の首長やイオマンテの様子を描いた絵を掲載して、特徴を示したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「ステップアップ」で一単位時間の学習内容を踏まえた発展的な学習活動（全学年）や、「歴史を考えよう」で学んだことを基に話し合い、考察する活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインを取り入れたり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		116・日文	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・116-72	中学社会 歴史的分野
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物や文化財、ことがらに着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、年号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良や姫路の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、テーマや課題を設定した調査・考察から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、奈良時代の律令国家の成立に着目して、政治や文化の特色を考察したり、単元のまとめでは「日本という国はどのように生まれ、発達していったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の商工業の発展に着目して、民衆の成長による社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「たえず戦乱がくり返される時代となったのはなぜか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政策や社会の変化に着目して、政治改革が成功しなかった理由を考察したり、単元のまとめでは「戦乱のない安定した時代は、どのように続いたか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、江戸時代の幕藩体制とのちがいに着目して、明治政府の政策の目的を考察したり、単元のまとめでは「近代化の特色は、どのような点にあらわれているか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、経済大国日本と外国の関係に着目して、世界に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「戦後日本は平和で民主的な社会、豊かな暮らしをどう追求したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		内容の構成・排列	○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、承久の乱の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図や年表などの複数の資料を基に、古代から中世への時代の変化について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「私たちと歴史」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。		
使用上の配慮等		○ 北方領土に関する条約や国境の変化の地図、写真などの資料を掲載して、第二次世界大戦後の日本の取組を説明したり（全学年）、アイヌ文化について、儀式や神話、国立アイヌ民族博物館などの資料を掲載して、アイヌ文化の伝承について説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認」で一単位時間の学習の理解を確認する活動（全学年）や、「学び合い」で話し合いなどの対話的な活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成と学び方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		225・自由社	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・225-72	新しい歴史教科書
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「私たちと歴史」において、小学校の歴史学習で学んだ人物に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、奈良と京都の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や考察したことから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動・「古代までの日本」において、大和朝廷による国内の統一に着目して、古墳の広まりから勢力の広がりを考察したり、単元のまとめでは「古代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「中世の日本」において、鎌倉時代の武士の政権の特徴に着目して、将軍と武士の主従関係を考察したり、単元のまとめでは「中世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「近世の日本」において、江戸幕府の諸政策の目的に着目して、江戸時代の社会の安定を考察したり、単元のまとめでは「近世とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「近代の日本と世界」において、近代産業の発展と国民生活の変化に着目して、日本の産業革命の進行を考察したり、単元のまとめでは「近代前半（幕末・明治）とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動・「現代の日本と世界」において、高度経済成長と日本の発展に着目して、社会や外交への影響を考察したり、単元のまとめでは「現代とはどんな時代だったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		内容の構成・排列	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、二つの世界大戦と日本の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、二つの世界大戦の共通点と違いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「歴史のとらえ方」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特徴や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>		
使用上の配慮等		<p>○ 江戸幕府から蝦夷地（北海道）の測量を命じられた伊能忠敬の地図と現在の日本地図を比較して紹介したり（全学年）、アイヌの人々の文化や生活について、イオマンテなどの祭りや音楽、サケ、コンブ、毛皮などの交易の様子を説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 本文の記述を深め、歴史の見方のヒントを与える読み物（全学年）や、「チャレンジ」で単元を学習したあと挑戦したいワンポイントの課題を掲載する（全学年）など、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、レイアウトの統一に配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、ICTの活用例を掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		227・育鵬社	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・227-72	新しい日本の歴史
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した歴史上の人物や文化財に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や世紀、元号、時代区分を示した年表から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、大坂や横浜の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、実際の調べ学習を例にした調査の流れから地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、飛鳥時代の律令国家の確立に至る過程に着目して、聖徳太子が目指した政治を考察したり、単元のまとめでは「資料を見て古代の日本の変化について考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、鎌倉時代の武家政権の成立に着目して、古代の律令政治との違いを考察したり、単元のまとめでは「人々の暮らしや社会がどのようなになったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の成立と大名統制に着目して、江戸幕府による支配が続いたことを考察したり、単元のまとめでは「江戸時代の社会はどのような社会になっていったのか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、大日本帝国憲法の制定に着目して、憲法の作られ方や政治のしくみを考察したり、単元のまとめでは「近代化に向けて歩んだ日本にとってどんな時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、第二次世界大戦後の諸改革に着目して、憲法が大きく変化した点を考察したり、単元のまとめでは「戦後の日本と世界の歩みからどんな時代だったといえるか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、第一次世界大戦後の国際情勢の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、地図資料を基に世界の植民地やアジアの民族運動について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「序章」において、歴史の学び方について学習した後、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 明治時代の開拓使による北海道の開拓について、屯田兵による開拓の様子をなど紹介したり（全学年）、「蝦夷地との交易」の中で、儀式の様子を描く資料などを掲載して、アイヌ民族による交易の様子や和人とのかかわりを説明したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「確認と探究」で学習内容を振り返る活動（全学年）や、「TRY!」でグループで話し合ったり調べたりして取り組む対話的な活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の構成について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		229・学び舎	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・229-72	ともに学ぶ人間の歴史
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物、できごとや文化に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの資料から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、東京の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、弥生時代の稲作の広まりに着目して、くらしや社会の変化を考察したり、単元のまとめでは「人びとの生活や社会のようす、制度や文化はどう変化したか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、室町時代の諸産業の発達に着目して、都市や農村の自治的な仕組みの成立を考察したり、単元のまとめでは「中世はどのような人びとが力をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の政治改革や社会の変化に着目して、百姓一揆が起こった背景を考察したり、単元のまとめでは「中世と比較し近世・江戸時代はどのような時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、立憲国家の成立と議会政治の始まりに着目して、自由民権運動の広まりや変化を考察したり、単元のまとめでは「近代はどのような特色をもった時代だったか」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、サンフランシスコ講和会議の参加国に着目して、第二次世界大戦後の日本の国交の変化を考察したり、単元のまとめでは「時代の変化を絵に表してみよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、中世の武士の政治への進出と展開の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、鎌倉幕府の政治の特徴や武士の願いについて話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成・排列については、「歴史と出会う」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 領土画定に関して、開拓使設置や北海道への移住奨励に関する資料を掲載して、明治時代の北海道の開拓の進展について説明したり（全学年）、江戸時代にアイヌの人々が採集した昆布の行方を課題として提示し、近隣諸国との交易の拡大について紹介したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 「フォーカス」で歴史の舞台に焦点を当てて学習を深める活動（全学年）や、「歴史を体験する」で学習内容に関わる体験活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラーユニバーサルデザインに配慮したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、ICTの活用例を掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。			
その他					

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		236・令書	第1・2・3学年 歴史的分野	歴史・236-73	国史教科書 第7版
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 歴史的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと歴史」において、小学校で学習した人物と文化に着目して、時代区分との関わりについて考察したり、西暦や元号、世紀、時代区分などの説明から年代の表し方の意味や意義を理解したりする活動 ・「身近な地域の歴史」において、推移や比較などの視点に着目して、堺の歴史的な特徴を多面的・多角的に考察したり、調査や発表の方法を示した資料から地域の歴史についてまとめる方法を理解したりする活動 ・「古代までの日本」において、古墳時代の日本列島における国家形成に着目して、同じ形の前方後円墳が点在する意味を考察したり、単元のまとめでは「古代の時代ごとの特色をとらえよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「中世の日本」において、南北朝の争乱と室町幕府に着目して、足利尊氏が建武政権から離反した理由を考察したり、単元のまとめでは「鎌倉時代に登場した新しい仏教を分類しよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近世の日本」において、江戸幕府の支配の仕組みに着目して、江戸幕府が200年以上も続いた理由を考察したり、単元のまとめでは「世界の植民地競争に巻き込まれた激動の時代を調べよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「近代の日本と世界」において、日清・日露戦争に着目して、諸国に与えた影響を考察したり、単元のまとめでは「明治維新による近代化と弊害について調べ考えよう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 ・「現代の日本と世界」において、日本の経済の発展に着目して、戦後の復興を果たすための国民の努力を考察したり、単元のまとめでは「歴史について議論し協力して結論を導こう」という主題を設けて時代の特色を理解したりする活動 			
		<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、明治維新の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、明治維新による近代化のさまざまな側面について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、「国史を学ぶにあたって」において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等		<p>○ 江戸時代における欧米諸国の接近の学習において、ロシアのラクスマンによる根室への来航について説明したり（全学年）、「鎖国下の対外窓口」の中で、儀式の様子を伝える資料を掲載して、アイヌの人々と和人との交易について紹介したり（全学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 「歴史カードを作ってみよう」で小学校で学んだ人物について調べる活動（全学年）や、「グループで歴史を調べよう」でテーマを決めて調べる活動（全学年）を掲載するなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり（全学年）、全ての生徒が学習しやすいよう、カラー印刷の「巻末口絵」や「日本美術図鑑」を掲載したり（全学年）するとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載する（全学年）など、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他					

様式 3

＜歴史的分野の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <p>① 大項目（「歴史との対話」「近世までの日本とアジア」「近現代の日本と世界」）ごとのページ数及び総ページ数</p> <p>② 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数</p> <p>③ 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する歴史的事象）を取り上げているページ数及び箇所数</p> <p> (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数</p> <p> (2) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数</p> <p> (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数</p> |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|--|
| <p>① 学習指導要領に示されている歴史的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。</p> <p>② 自然災害における関係機関の役割等に関する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。</p> <p>③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。</p> |
|--|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者									
				東書	教出	帝国	山川	日文	自由社	育鵬社	学び舎	令書	
①	大項目ごと のページ数 及び総ペー ジ数	歴史との対 話	ページ数	30	35	13	22	14	12	22	8	13	
			全体に占める割合	10%	12%	4%	7%	4%	4%	7%	3%	3%	
		近世までの 日本とアジ ア	ページ数	118	115	146	132	136	130	122	124	252	
			全体に占める割合	39%	36%	44%	45%	42%	42%	40%	40%	48%	
		近現代の日 本と世界	ページ数	126	140	146	125	146	139	134	146	191	
			全体に占める割合	42%	44%	44%	42%	45%	44%	43%	47%	37%	
		その他	ページ数	26	27	29	17	28	31	30	30	64	
			全体に占める割合	9%	8%	8%	6%	9%	10%	10%	10%	12%	
		総ページ数			300	317	334	296	324	312	308	308	520
		前回のページ数			308	318	310	296	336	(※2)	320	308	(※2)
		増減			-3%	-1%	7%	0%	-4%		-4%	0%	
②	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数			30	27	44	19	32	23	24	28	17	
③	北海道とか かわりのあ る内容を取 り上げている ページ数 及び箇所数 (※1)	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数		23	18	21	9	20	7	9	17	11	
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数		9	9	8	9	5	6	11	6	12	
		道内の市町村等を取り上げている箇所数		76	90	105	78	98	44	60	70	62	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

(※1) 調査項目③については、本文、見出し、写真、地図、年表などの箇所を対象とした。なお、「アイヌの人たちの歴史・文化等」及び「北方領土に関する内容」のページ数については、巻末資料等をページ数に含めている。

(※2) 自由社及び令書については、前回は調査研究していないため、増減の比較を掲載していない。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書 の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	時期や年代の表し方 (P11)	年表	コマシャインの戦い
	身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財 (P21)	地図	モシリヤ砦跡
	東アジアとの交流 (P84)	見出し	明や朝鮮、琉球やアイヌの人々と
		地図	室町時代の主な交易路（アイヌ民族の交易）
	東アジアとの交流 (P85)	見出し	アイヌ民族の交易活動
		本文	アイヌ民族の交易活動 蝦夷地（北海道）では、アイヌ民族が狩りや漁、本州・樺太（サハリン）・ユーラシア大陸との交易を行っていました。
		写真	アイヌ民族の小刀
	中世の学習をふり返り、まとめよう (P97)	年表	アイヌ民族
	江戸時代の対外関係 (P116)	地図	四つの窓口 アイヌ民族
	琉球王国やアイヌ民族との関係 (P118)	見出し	琉球王国やアイヌ民族との関係
		囲み	江戸幕府は、琉球王国やアイヌ民族とどのような関係を持ったのでしょうか。
		囲み	琉球王国・アイヌ民族に対する江戸幕府の「窓口」はどこか、それぞれ挙げましょう。
	琉球王国やアイヌ民族との関係 (P119)	見出し	アイヌ民族との交易
		本文	アイヌ民族との交易 蝦夷地（北海道）のアイヌ民族は、アイヌ語や、自然や動物に対する信仰など独自の文化を持ち、漁業や狩猟などで生活をしていました。
		絵	オムシャ
		絵	こんぶ漁の様子（北海道国立アイヌ民族博物館蔵）
		囲み	本州の津軽半島や下北半島（青森県）などにも、アイヌの人々が住んでおり、弘前藩（青森県）や南部藩（岩手県・青森県）の支配を受けました。
		囲み	琉球王国と江戸幕府、アイヌ民族と江戸幕府、それぞれの関係のちがいを説明しましょう。
	アイヌ文化とその継承 (P120)	見出し	アイヌ文化とその継承
		本文	アイヌ文化の展開 アイヌの人々の生活は、狩りや漁、採集により成り立っていました。
		絵	イオマンテの様子
	アイヌ文化とその継承 (P121)	本文	アイヌ文化を継承する動き 明治時代に入ると、新政府が北海道の開拓を進めたことで、アイヌの人々は土地や漁場をうばわれ、生活が苦しくなっていました。
		絵	入れ墨をした女性 アイヌの女性は、12～16歳ぐらいになると、口の周りや手の甲に入れ墨をほどこしました。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	アイヌの人たちの歴史・文化等	アイヌ文化とその継承（P121）	写真	蝦夷錦 アイヌの人々の交易で、中国東北部からカラフトを経て日本にもたらされた衣装です。
			写真	知里幸恵 アイヌ民族の口承文学を文字で記録
			囲み	ふくろうの神の自ら歌った謡「銀のしずく降る降るまわりに」（知里幸恵「アイヌ神謡集」）
			囲み	アイヌ文化の特色と具体例を、本文や資料からまとめましょう。
	アイヌ文化等	近世の学習を振り返ろう（P141）	本文	右の資料中の空欄あ～おに当てはまる語句を、次からそれぞれ選びましょう。 アイヌ民族
		近世の学習を振り返ろう（P143）	年表	アイヌ民族
		国境と領土の確定（P174）	見出し	北海道の開拓とアイヌの人々
		国境と領土の確定（P175）	本文	北海道の開拓とアイヌの人々 一方、開拓が進むにつれて、先住民であるアイヌの人々は土地や漁場をうばわれていきました。
			写真	樺太から北海道の江別に強制的に移住させられたアイヌの人々
			囲み	北海道旧土人保護法
			囲み	アイヌの人々と琉球の人々に対する政府の対応について、共通点を挙げましょう。
		広がる社会運動と男子普通選挙の実現（P215）	本文	差別からの解放を求めて 北海道では、差別に苦しむアイヌ民族の解放運動も起こり、1930（昭和5）年には北海道アイヌ協会が結成され、アイヌ民族の社会的地位の向上を訴えました。
		民主化と日本国憲法（P249）	本文	政党政治と社会運動の復活 部落解放運動が再建され、北海道アイヌ協会も新たに結成されました。
		変化する冷戦後の日本（P262）	年表	アイヌ文化振興法成立
		現代の学習をふり振り返り、まとめよう（P271）	年表	アイヌ文化振興法成立
		歴史に学び、未来へと生かそう（P274）	囲み	テーマ例 人権平和 ・差別の解消に向けた取り組み →アイヌ民族差別
			囲み	テーマ例 伝統文化 ・先住民族の文化の継承と発展 →アイヌ文化の継承の取り組みなど
		年表	年表	アイヌ文化が成立する
		年表	年表	コシヤマインの戦い
		年表	年表	シャクシャインの戦い
		年表	年表	アイヌ文化振興法制定 アイヌ民族を先住民族とすることを求める国会決議

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 北 領 土 書	北 方 領 土	身近な地域の主な史跡・国宝・重要文化財 (P21)	地図	択捉島 国後島 色丹島 歯舞群島
		田沼意次の政治と寛政の改革 (P133)	地図	北方探検 択捉島 国後島
		外国船の出現と天保の改革 (P136)	地図	外国船の来航 国後島
		開国と不平等条約 (P158)	囲み	幕府は、ロシアとも日露和親条約を結び、下田・函館・長崎を開港することや、択捉島と得撫島の間を国境とすることなどを取り決めました。
		国境と領土の確定 (P174)	本文	南北の国境の確定 幕末にロシアと結んだ日露和親条約では、択捉島以南（北方領土）を日本領、得撫島以北の千島列島をロシア領とする一方、樺太（サハリン）はどちらの領土であるか不明確でした。
			地図	国境の確定 択捉島
			写真	国後島での海産物の加工
		領土をめぐる問題の背景 (P176)	囲み	竹島・尖閣諸島・北方領土は、どのような経緯で日本固有の領土になったのでしょうか。
			本文	歴史的に見る島々の領有 島根県の竹島や北海道の北方領土は、それぞれ大韓民国(韓国)とロシアが不法に占拠しており、日本は抗議を続けています。
			地図	択捉島
		領土をめぐる問題の背景 (P177)	見出し	日本人の生活の舞台・北方領土
			本文	日本人の生活の舞台・北方領土 日本人が開拓を進めた北方領土では、海産物の加工や畜産などが行われ、1945（昭和20）年の太平洋戦争の終結時には、約1万7000人の日本人が暮らしていました。
			囲み	日露和親条約 第二条 今より後日本国と魯西亜国との境「エトロフ」島と「ウルップ」島との間に在るへし
			写真	北海道の根室半島上空から見た歯舞群島
			写真	戦前の北方領土
		占領下の日本 (P246)	本文	敗戦後の日本 また、北方領土は、ソ連によって不法に占拠されました。
		緊張緩和と日本外交 (P255)	囲み	このときソ連が全ての北方領土の返還に応じなかったため、平和条約を結ぶことができませんでした。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出 ア イ ヌ の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等		私たちにつながる歴史（巻頭 1）	写真	秋さけを迎えるアイヌ民族の伝統行事
		北と南で開かれた交易（P80）	見出し	蝦夷地とアイヌ民族
			本文	蝦夷地とアイヌ民族 蝦夷地（北海道）では、アイヌ民族が先住民として住み、古くから狩猟や漁、交易が行われていました。
		北と南で開かれた交易（P81）	本文	蝦夷地とアイヌ民族 また14世紀ごろには、津軽半島（青森県）の十三湊を拠点にした安藤氏が、アイヌの人たちとの交易を活用して勢力を伸ばしました。
			地図	15世紀ごろの琉球王国やアイヌ民族の交易ルートと十三湊（青森県）
			囲み	津軽半島や下北半島をはじめ、東北地方の北部に居住するアイヌ民族もいました。
			囲み	琉球王国やアイヌの人たちが、どのように周辺地域とつながり、独自の文化を育んだのか説明しよう。
			囲み	オホーツク文化と擦文文化 量や狩猟、採集、粟や稗などの農耕を生業とする擦文文化は、13世紀ごろまでにはアイヌ文化へと発展していきました。
		学習のまとめと表現（P92）	本文	⑥蝦夷地・・・アイヌ民族が暮らしていた。（P80）
		琉球・蝦夷地を通じた国際関係（P122）	見出し	琉球王国とアイヌの人たちへの支配
			囲み	琉球王国と薩摩藩、アイヌの人たちと松前藩の関係は、どのようなものだったのでしょうか。
		琉球・蝦夷地を通じた国際関係（P123）	見出し	アイヌ民族と松前藩
			本文	アイヌ民族と松前藩 アイヌ民族は、蝦夷地（北海道）や千島列島、樺太、中国にわたる広い地域で、狩りや漁で得た豊かな海産物や毛皮などの交易を行いながら暮らしていました。
			絵	オムシャの様子
			写真	蝦夷錦 清で作られた絹織物で、アイヌ民族を通じて蝦夷地にもたらされました。
			写真	シベチャリチャシ跡
			囲み	琉球王国やアイヌの人たちは、日本や周りの国とどのように関わっていたか確かめよう。
		繰り返される政治改革（P133）	本文	寛政の改革 このころ、ロシアの人たちがシベリアから蝦夷地に進出し、アイヌの人たちとの交易を進めていました。
		学習のまとめと表現（P140）	本文	松前藩・・・アイヌの人たちを支配した。（P123）
		学習のまとめと表現（P141）	年表	シャクシャインの戦い

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	アイヌの人たちの歴史・文化等	形づくられる日本国家（P174）	囲み	北海道の命名 武四郎はアイヌの古老から「カイという言葉には、この地で生まれたものという意味がある」と教わり、その意味を地名に込めたといわれています。
			写真	アイヌ学校
			見出し	北海道の開拓とアイヌ民族
		形づくられる日本国家（P175）	本文	北海道の開拓とアイヌ民族 開拓が進むにつれて、先住民族であるアイヌ民族は、漁や狩りの場をうばわれ、生活に困るようになりました。
			囲み	この法律により、アイヌ民族に農地が与えられることになりましたが、和人に与えられた土地よりも面積が小さく、農耕に適さない土地があてがわれた例も多くありました。
			囲み	アイヌ民族の中には農業経営に成功した人もいましたが、農業に失敗して土地を取り上げられる人も多くいました。
			囲み	同化政策 ここでは、アイヌ民族や琉球の人たちを「日本国民」にしようとしたことをさします。
			囲み	政府の政策は、アイヌ民族や琉球の人たちにどのような影響を与えたか説明しよう。
		北海道の歴史を調べよう（P178）	見出し	先住民族であるアイヌ民族の人たちの言葉や文化は否定されましたが、その素晴らしさに気づき、残そうと努めた人たちもいます。
			本文	テーマを決めて調べよう ミゲルさんは、アイヌ民族の文化について、本やインターネットなどで調べました。
			年表	中世（13世紀～） アイヌ民族、和人、コシャマイン
			囲み	アットウシ アイヌ民族の伝統的な衣服です。
			囲み	イオマンテ（熊送り）の儀式 アイヌ民族の人たちは熊をカムイの仮の姿と考え、狩りで子熊を手に入れたら、コタン（集落）で大切に育てた。
			囲み	民族共生象徴空間「ウポポイ」での踊りの公演 アイヌ民族の文化を守ったり、発信したりする活動には、どのようなものがあるのだろう。
		北海道の歴史を調べよう（P179）	本文	人物に注目して掘り下げよう アイヌ民族の言葉について関心をもったミゲルさんは、アイヌ民族の歌謡を記録した知里幸恵について調べました。
			囲み	「ふくろうの神の自ら歌った謡『銀のしづく降る降るまわりに』」の一部（知里幸恵『アイヌ神謡集』）

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	アイヌの人たちの歴史・文化等	北海道の歴史を調べよう（P179）	囲み	T R Y アイヌ民族の文化には、どのような特徴があるのか考えよう。
		デモクラシーのうねり（P221）	本文	社会運動の高まり 北海道では、差別を受けていたアイヌ民族の解放運動が始まり、1930年に北海道アイヌ協会が設立され、アイヌ民族の結束と社会的地位の向上を主張しました。
		敗戦からの再出発（P255）	本文	民主化政策の始まり 差別の撤廃を目ざす運動では、全国水平社の伝統を引き継いで、部落解放運動が再建され、アイヌの人たちの社会的地位の向上を目ざす北海道アイヌ協会が再び組織されました。
		未来をひらくために（P281）	本文	平和を築くために アイヌの人たちや在日外国人、外国人労働者への差別や偏見をなくすこと、部落差別を撤廃すること、社会的な男女の不平等を解消していくことは、国民の課題です。
			囲み	2007年に、国連総会で「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択されたことを受けて、2008年には国会で、「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が採択されました。
	歴史年表（巻末3）		年表	シャクシャインの戦いが起こる
			年表	アイヌ文化振興法成立
			年表	アイヌ民族を先住民族とすることを求める国会決議
	各地の主な遺跡・史跡・できごと（巻末6）		地図	シャクシャインの戦い シベチャリチャシ跡 モシリヤチャシ跡
	北方領土	繰り返される政治改革（P133）	本文	寛政の改革 和人の商人も蝦夷地の東部まで漁場を広げていましたが、1789年、国後地方で、約130名のアイヌの人たちが漁場での扱いを不満とし、立ち上がって抵抗しました。
		内と外の危機（P134）	地図	幕末の北方探検と、間宮林蔵 国後島、択捉島
		内と外の危機（P135）	地図	日本への外国船の接近 国後島を測量中のロシア人を逮捕
		たった四はいで夜も眠れず（P158）	囲み	ロシアとの条約では、千島列島の択捉島以南を日本領、ウルップ島以北をロシア領としましたが、樺太については国境を決めませんでした。
		独立の回復（P260）	囲み	歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は、日本固有の領土であり、日本はこれまでソ連に対して返還を要求してきました。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
教 出	北 方 領 土	独立の回復（P261）	本文	独立の回復と国際社会への復帰 のちに日本は、平和条約に参加しなかった国々との国交の回復につとめ、ソ連とは、1956年に日ソ共同宣言に調印し、北方領土問題が未解決のまま、国交を回復しました。
			写真	北海道の東端から見た北方領土
		隣国と向き合うために（P266）	本文	北方領土（北海道） その後、歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島の北方領土は、日本固有の領土として統治されました。
			写真	色丹島での海苔づくり
		隣国と向き合うために（P267）	地図	日本の領土・領海 国土の北端 択捉島 国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島 日本がロシア連邦に返還を求めている北方領土
				各地の主な遺跡・史跡・できごと
			地図	北方領土の問題（1945～） 歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国 アイヌ の人 たち の 歴 史 ・ 文 化 等	表紙	絵	イオマンテ(熊送り)の様子
	ムラがまとまりクニへ(P31)	年表	北海道・南西諸島の歩み 「アイヌ文化」の時代
	モンゴル帝国と「蒙古襲来」(P80)	囲み	北と南を襲ったもう二つの蒙古襲来 13世紀後半から14世紀初頭の樺太(サハリン)では、元軍とアイヌ民族の間で、断続的な戦いが続きました。
		見出し	琉球とアイヌ民族がつなぐ交易
	琉球とアイヌ民族がつなぐ交易(P88)	囲み	琉球王国やアイヌ民族は、周辺諸国とどのような関係を築いたのだろうか。
		本文	アイヌ民族との交易 その後しばらくは、アイヌ民族と和人の交易は安定したものとなりました。
	琉球とアイヌ民族がつなぐ交易(P89)	地図	日本の北と南の交易 アイヌ民族の交易路
		囲み	北海道独自の文化 後に擦文文化はアイヌ文化へと発展していきました。
		囲み	琉球王国とアイヌ民族が交易していた相手と交易品を、本文からそれぞれ書き出そう。
		囲み	琉球王国やアイヌ民族は、本州の人々とどのような関係をもったのか、説明しよう。
	学習を振り返ろう 3 章中世(P102)	年表	十三湊がアイヌ民族との交易で栄える
	16世紀初めごろの世界(P111)	地図	アイヌ文化圏
	琉球王国とアイヌ民族への支配(P130)	見出し	琉球王国とアイヌ民族への支配
		囲み	琉球王国とアイヌ民族は、薩摩藩や松前藩とどのような関係にあったのだろうか。
	琉球王国とアイヌ民族への支配(P131)	本文	蝦夷地への窓口 蝦夷地の多くの土地にはアイヌ民族が暮らし、南西部の渡島半島には松前藩の和人の住む和人地がありました。
		本文	交易をめぐる衝突 アイヌ民族は、貿易のあり方をめぐって松前藩と対立し、1669年にシャクシャインを中心に立ち上がって戦いました。
		写真	松前藩とアイヌ民族の取り引き
		絵	アイヌオムシャの様子 オムシャとはアイヌ語で「あいさつ」の意味で、もともとアイヌの人々との交易の場を指していました。
		囲み	蝦夷地 蝦夷とアイヌ民族の関係は明らかになっていませんが、この蝦夷に由来して、北海道は和人から蝦夷地とよばれていました。
		地図	1669年ごろの蝦夷地 1669年にシャクシャインの戦い(アイヌ民族と松前藩の衝突)が起こる

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国	アイヌの人たちの歴史・文化等	琉球王国とアイヌ民族への支配 (P131)	囲み	アイヌ民族と松前藩の交易品を、本文からそれぞれ書き出そう。
			囲み	アイヌ民族と松前藩が、それぞれどのような関係にあったのか説明しよう。
		琉球とアイヌの人々の暮らし (P132)	見出し	琉球とアイヌの人々の暮らし
		琉球とアイヌの人々の暮らし (P133)	囲み	そのころの琉球とアイヌ民族の生活や文化は、どのようなものだったのかな。
			見出し	アイヌ民族の暮らし
			絵	イオマンテ（クマの霊送り）の様子
			絵	アイヌ民族が狩りを行う様子
			囲み	ふくろうの神のみずから歌った謡 知里幸恵『アイヌ神謡集』（1923年）より、抜粋
			本文	②アイヌ民族はどのような生活をしていたのかな？
		昆布ロードと北前船 (P142)	絵	アイヌが昆布をとる様子
		学習を振り返ろう 4章近世 (P158)	年表	シャクシャインの戦い
		沖縄・北海道と近代化 (P197)	本文	北海道の開拓 新政府は、アイヌ民族が住む北方の地を1869年に北海道と改称しました。
			本文	生活を変えられたアイヌ民族 開拓による都市化が進むと、アイヌ民族は条例によって土地を取り上げられ、強制移住も行われました。
			囲み	天川恵三郎 言論で戦ったアイヌ 天川恵三郎は、アイヌの民族活動家です。
			囲み	北海道の地名の由来 地名のもとになったアイヌ語
			写真	アイヌ学校
			囲み	新政府の行った政策によって、琉球とアイヌ民族の生活がどのように変わったのか、説明しよう。
		社会運動の高まりと男子普通選挙の実現 (P241)	本文	解放を求めて立ち上がる人々 また、アイヌ民族も、北海道アイヌ協会を創立し、地域のアイヌ民族が交流し、結束しました。
		近代都市に現れた大衆文化 (P245)	本文	見直される伝承や文化 そうしたなか、沖縄固有の文化やアイヌの伝承も見直されるようになりました。
			囲み	『アイヌ神謡集』序（1923年）
			写真	知里幸恵 アイヌの少女であり、アイヌの神々の物語にローマ字でのアイヌ語表をつけて、『アイヌ神謡集』にまとめました。
		激変する日本とアジア (P301)	囲み	日本における先住民族 そして、アイヌ民族の誇りが尊重される地域社会づくりに向けた「アイヌ施策推進法」を19年に制定しました。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国 アイヌ の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等		激変する日本とアジア (P301)	写真	民族共生象徴空間（ウポポイ）で披露されたアイヌ古式舞踊
		歴史年表 2 (折込 3)	年表	「アイヌ文化」の時代
		歴史年表 2 (折込 4)	年表	蝦夷地でシャクシャインの戦い（アイヌ民族と松前藩の間で衝突）が起こる
		歴史年表 2 (折込 6)	年表	アイヌ文化振興法成立 アイヌ施策推進法成立
		歴史の舞台を尋ねよう (折込 8)	地図	アイヌ学校 シブチャリ
	北 方 領 土	日本を取り巻く世界情勢の変化 (P177)	地図	外国船の来航 国後島
		新たな外交と国境の画定 (P195)	本文	画定する国境 北方の国境については、ロシアと開国の際に、択捉島と得撫島の間で国境を確認していましたが、1875年に樺太・千島交換条約を結び、樺太島全域をロシア領とする代わりに、占守島以南・得撫島以北の千島列島を日本領としました。
			地図	明治初期の日本の国境と外交 択捉島
		太平洋戦争と植民地支配の変化 (P264)	地図	アジアと太平洋での戦争 択捉島
		ポツダム宣言と日本の敗戦 (P270)	囲み	8月28日から9月5日までの間に、樺太を占領していたソ連軍が北方領土を占領しました。
		敗戦からの出発 (P279)	囲み	日本が降伏した後に北方領土へ侵攻したソ連は、占領した四島をソ連に「編入」し、住んでいた日本人全員を強制退去させました。これに対して日本は、ソ連が北方領土を不法占拠しているとの立場をとっています。
		日本の独立と世界の動き (P284)	本文	平和条約の調印と国際連合への加盟 1956年には、鳩山一郎内閣がソ連と日ソ共同宣言を調印し、北方領土問題は未解決のまま、戦争状態の終了を宣言し、国交を回復しました。
		日本の独立と世界の動き (P285)	地図	日本の戦後の国境 北方領土 択捉島 国後島 色丹島 歯舞群島
		日本の領土画定と近隣諸国 (P286)	見出し	北方領土
			地図	北方領土周辺の国境変遷 択捉島 国後島 色丹島 歯舞群島
			写真	国後島の中心であった泊村
			囲み	日ソ共同宣言 ソ連は、日本国の要請にこたえ、かつ日本国の利益を考慮して、歯舞群島及び色丹島を日本国に引き渡すことに同意する。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
帝国	北方領土	日本の領土画定と近隣諸国(P286)	本文	<p>北方領土問題にはどのような経緯があったのかな？</p> <p>しかし、ソ連は、ヤルタ協定に基づいて、北方領土の4島を含めた千島列島の領有権を主張し、サンフランシスコ平和条約に署名しませんでした。</p>

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 姓	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
山 川 アイ ヌ の 人 々 の 歴 史 ・ 文 化 等	私たちと歴史（P6）	本文	日本の歴史の区分を、社会の仕組みがちがうアイヌ民族や琉球、また世界の国や地域にそのまま当てはめることはできないので、注意が必要です。
	中世の日本（P63）	年表	コシヤマインの戦い
	アイヌ民族の歴史と文化（P90）	見出し	アイヌ民族の歴史と文化
		本文	アイヌ民族の世界 日本列島の北部には、狩猟や漁労・交易で生活するアイヌ民族の世界が広がっていた。
		地図	コシヤマインの戦いで陥落した館
		囲み	アイヌ民族は、どのように周辺の世界と交流し、どのような文化をつくり上げていったのだろうか。
	アイヌ民族の歴史と文化（P91）	本文	近世のアイヌ民族 シャクシャインの戦いでアイヌ民族が松前藩に敗れると、次第に松前藩の支配が強まっていった。
		絵	ソウヤの首長チョウケン
		年表	アイヌ民族（北海道）の歴史
	江戸時代の対外関係（P126）	見出し	朝鮮・琉球アイヌ民族との間には、どのような関係が築かれたのだろうか。
		地図	蝦夷（アイヌ）
	江戸時代の対外関係（P127）	本文	挑戦・琉球・蝦夷ヶ島 蝦夷ヶ島（北海道）では、幕府が南部の松前地方に勢力を持っていた松前氏にアイヌ民族との交易の独占権を認めた。
		絵	松前へ交易に来たアイヌ民族一行（17世紀後半～18世紀前半）
	明治初期の対外関係（P183）	見出し	北海道開拓とアイヌ民族
		本文	北海道開拓とアイヌ民族 その一方、先住民族であるアイヌ民族は各地で少数者となり、同化政策によって、独自の言語・文化は否定された。
		囲み	条約の締結にともない、樺太南部に住む樺太アイヌの一部は札幌近郊の対雁（現在の江別市）、北千島に住む千島アイヌは色丹島へ、強制的に移住させられた。
	明治初期の対外関係（P184）	本文	北海道開拓とアイヌ民族 従来の漁場や土地の権利は認められず、わずかな「保護地」に居住させられ、1899（明治32）年に制定された北海道旧土人保護法により慣れない農業を強いられるなど、アイヌ民族の生活は苦しくなっていた。
		囲み	知里幸恵（1903～22） 『アイヌ神謡集』の著者。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
山川	アイヌの人たちの歴史・文化等	明治初期の対外関係（P184）	囲み	北海道旧土人保護法 アイヌ民族を「旧土人」と規定し、土地の給与による農業の奨励と公教育の保障などを旨とした法律。
		地域からのアプローチ⑤ 札幌（P205）	本文	札幌 基盤の目状に整然とした道路で区画された計画都市のイメージがありますが、市の名称は、アイヌ語のサッポロペツ（乾く大きな川）に由来し、開拓以前のアイヌ民族の歴史をふまえた顔も見えてきます。
			囲み	北海道全体の人口の中で、アイヌ民族が圧倒的な少数者（マイノリティ）になったことと、1899（明治32）年の「北海道旧土人保護法」の成立との関連を調べてみよう。
			囲み	1997（平成9）年に制定され、「北海道旧土人保護法」を廃止した「アイヌ文化振興法」の意義や、2019（令和元）年に制定され、アイヌ民族が先住民族であると記した「アイヌ施策推進法」の意義を調べ、これから目指すべき社会の姿について、話し合ってみよう。
			表	北海道の人口、アイヌ民族の人口、札幌の人口推移
北方領土	アイヌ民族の歴史と文化（P90）	寛政の改革と対外的な危機（P141）	囲み	蝦夷ヶ島と蝦夷地 禁制には、松前・箱館など渡島半島南部を「松前地」と呼んで陸奥国の一部と見なし、それ以外の「蝦夷地」（現在の北方四島・樺太南部をふくむ）と区分した。
			本文	対外的な危機 これに対し、レザノフの部下が樺太（サハリン）や択捉島を襲撃する事件が起こった。
		寛政の改革と対外的な危機（P141）	本文	対外的な危機 その後、幕府は国後島に上陸したロシア海軍士官のグローウニンをとらえて抑留したため、両国の関係は一時緊張したが、高田屋嘉兵衛の尽力により解決した。
			本文	対外的な危機 蝦夷地では近藤重蔵らに択捉島の調査や開発を命じるとともに、間宮林蔵らに樺太やその対雁の調査を行わせ、北方の支配体制の強化を目指した。
			地図	国後島 択捉島 色丹島 歯舞群島
		寛政の改革と対外的な危機（P141）	囲み	大黒屋光太夫（1757～1828）と高田屋嘉兵衛（1769～1827） 嘉兵衛は国後島の沖合でロシアに抑留されたが、グローウニンとの捕虜交換を実現させた。
			地図	国後島
		内憂外患と天保の改革（P146）	地図	国後島

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
山川	北方領土	開国と条約締結（P167）	囲み	ロシアと結んだ日露和親条約では、国境について択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とし、樺太（サハリン）は国境を定めず、これまでどおりとした。
		明治初期の対外関係（P182）	囲み	条約の締結にともない、樺太南部に住む樺太アイヌの一部は札幌近郊の対雁（現在の江別市）、北千島に住む千島アイヌは色丹島へ、強制的に移住させられた。
			地図	択捉島 国後島
		国際関係の変化と日本の外交（P266）	本文	日ソ共同宣言 交渉は難航したが、北方四島をめぐる領土問題は未解決のまま、1956（昭和31）年に日ソ共同宣言が調印され、両国の国交が回復した。
			囲み	日ソ共同宣言 ソヴィエト社会主義共和国連邦は、日本国の要望にこたえ、かつ日本国の利益を考慮して、歯舞群島及び色丹島を日本国に引き渡すことに同意する。
		歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷（P268）	本文	日本固有の領土に関して、日本政府は現在、ロシアと北方領土、韓国と竹島について、領有権問題の存在を認めている。
			地図	ソ連の樺太・千島への進攻 国後島 択捉島 色丹島 歯舞群島
		歴史へのアプローチ 日本の領土の変遷（P269）	本文	北方領土 宣言では、両国で平和条約が結ばれた後にソ連が歯舞群島と色丹島を引きわたすとある。
			地図	国後島 択捉島 色丹島 歯舞群島 北方領土
		裏表紙	地図	択捉島

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
日 文	ア イ ヌ の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	教科書の構成と学び方（P4）	囲み	人物コラム
		教科書の構成と学び方（P5）	囲み	地域に学ぶ 国立アイヌ民族博物館（北海道白老町）
		琉球王国とアイヌ民族（P90）	本文	中世の琉球やアイヌ 蝦夷地（北海道）では、古くからアイヌ民族が居住し、土器を用い、狩りや漁、オホーツク沿岸地域との交易などをして生活していました。
			囲み	日本とアイヌ、日本と琉球それぞれのつながり方を比べてみましょう。
			年表	457 コシヤマインの戦いが起こる
			絵	イタオマチプ（板綴り舟）で海をわたるアイヌの人々
		琉球王国とアイヌ民族（P91）	囲み	確中世にいたるまでの、アイヌと琉球の歴史を本文から読み取りましょう。
			囲み	アイヌと琉球それぞれの周辺地域とのかかわり方に着目し、その特色を比べてちがいを話し合いましょう。
			地図	琉球王国とアイヌ民族の交易
		編の学習を確認し、「中世」の特色をつかもう！（P102）	年表	アイヌの人々との交易
			地図	アイヌ文化の成立
		国外に開かれた四つの窓口（P128）	本文	四つの窓口 長崎では中国・オランダの舟との貿易が行われ、松前（北海道）は蝦夷地・アイヌと、対馬（長崎県）は朝鮮と、薩摩（鹿児島県）琉球王国（沖縄県）とつながっていました。
		周辺地域との関係(P130)	見出し	周辺地域との関係ー琉球王国と蝦夷地・アイヌー
			本文	蝦夷地・アイヌ 松前氏は江戸時代には大名となりましたが、他の大名とは異なり、領地ではなく、アイヌの人々との交易を独占する権利をあたえられました。
			囲み	幕府は、琉球王国やアイヌの人々とどのような関係をもったのでしょうか。
			年表	1669 シャクシャインの戦い
			地図	シャクシャインの戦いの関係図
		周辺地域との関係(P131)	本文	蝦夷地・アイヌ 1669年、このような不利な交易に不満をつのらせたアイヌの人々は、シャクシャインに率いられ、松前藩と戦いを始めました。
			囲み	国立アイヌ民族博物館 2019（令和元）年に、アイヌの人々が民族としての誇りをもって生活することができ、その誇りが尊重される社会の実現をはかることなどを目的とした「アイヌ施策推進法」が施行されました。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
日 文	アイヌの人たちの歴史・文化等	周辺地域との関係 (P131)	囲み	その後、戦いをやめるために来訪した席でシャクシャインが殺害されると、松前藩によるアイヌ支配はいっそうきびしくなりました。
			囲み	知里幸恵『アイヌ神謡集』より
			囲み	幕府と、琉球王国やアイヌの人々との交易品にはどのようなものがあつたのか確認しましょう。
			囲み	幕府が、琉球王国やアイヌの人々の政治や暮らしにあたえた影響を説明しましょう。
			写真	国立アイヌ民族博物館の展示室
			絵	イオマンテのようす
		今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成 (P132)	見出し	今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成
			本文	琉球王国や蝦夷地のアイヌの人々が生み出し、今に伝わる独自の文化は、日本だけではなく世界においても重要な文化として知られています。
		今に伝わる琉球とアイヌ民族の文化の形成 (P133)	本文	アイヌの文化 アイヌの人々は、北海道をはじめ、樺太、千島列島などに住んでいました。
			囲み	アイヌ文化を伝えたアイヌの女性 知里幸恵（1903～1922）
			写真	タマサイ
			写真	アットウシ
			写真	マキリ
			写真	ルウンペ
		領土の画定と隣接地域 (P187)	見出し	北海道とアイヌの人々
			本文	北海道とアイヌの人々 開拓が進むにつれ、それまで自由に漁業や狩りを行って独自の文化をもっていた先住民族のアイヌの人々は、仕事や土地を失ったり、移住を強制されたりして、生活に困るようになりました。
			囲み	のちに、政府は北海道旧土人保護法を制定し、税金のすえおきや土地の供与、アイヌ学校の設置などの保護政策をとりました。
			写真	樺太・千島交換条約によって北海道へ強制移住させられた樺太アイヌの人々
		社会運動の広がり (P229)	本文	差別からの解放を求めて 民族差別に苦しむ人々も立ちあがり、1925年には、在日本朝鮮労働総同盟が、1930年には北海道アイヌ協会がつけられました。
		水平社の創立とさまざまな人権運動 (P234)	本文	近代における差別 特に、移民による開拓事業が進められた北海道では、先住民族のアイヌの人々が、仕事を失ったり、移住を強制されたりしました。
		水平社の創立とさまざまな人権運動 (P235)	本文	さまざまな解放運動のつながり 北海道の旭川では、1926年にアイヌの青少年たちが、中心となり、解平社を創立しています。

者	種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
日 文	アイヌの 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	敗戦直後の社会と文化（P267）	本文	生活や権利を守る動き 差別の解消を目指す団体では、全国水平社の伝統を受けつぐ部落解放全国委員会が結成され、北海道アイヌ協会も再び組織されました。
		これからの世界と日本の課題（P285）	本文	解決をせまられる国内課題 L G B Tなどの性的少数者、在日韓国・朝鮮人、アイヌ民族、外国人労働者といったマイノリティ（少数者）への偏見や差別的言動は、決して許してはなりません。
			写真	アイヌ文化の体験学習のようす
		冷戦終結後の近隣諸国との関係（P286）	本文	北方領土問題 ここは北海道と同様にアイヌ民族が先住する地域でしたが、19世紀までに江戸幕府の支配がおよんでおり、1855年に結ばれた日露和親（通好）条約で、日本の領土と確認されました。
		折込年表（※4）	年表	アイヌ民族のまとまり
		折込年表（※9）	年表	アイヌ文化振興法の施行 アイヌ施策推進法の施行
		主なできごと・史跡・関係地（巻末4）	地図	シャクシャインの戦い コシヤマインの戦い 国立アイヌ民族博物館 シブチャリ
		ゆらぐ幕府の支配（P168）	地図	幕府の北方調査 国後島 択捉島 色丹島 国後島
		ゆらぐ幕府の支配（P169）	地図	主な外国船の接近（ペリー来航以前） 国後島
		日本の独立と55年体制（P271）	囲み	歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島からなる北方領土問題（P286～P287）については解決できず、日ソ間の平和条約締結後に歯舞群島、色丹島を引きわたすことが合意されました。
		冷戦終結後の近隣諸国との関係（P286）	本文	北方領土問題 北方領土とは、北海道の東に位置する歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島のことをさします。
			囲み	択捉島は日本に属し、ウルップ島より北のクリル諸島はロシアに属す。
			囲み	ソビエト社会主義共和国連邦は、（略）歯舞群島及び色丹島を日本国に引きわたすことに同意する。
			地図	北方領土 択捉島 国後島 色丹島 歯舞群島
		冷戦終結後の近隣諸国との関係（P287）	写真	戦前の色丹小学校の運動会のようす
			地図	北方領土付近の国境の変化 択捉島 国後島 色丹島 歯舞群島

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
自由 社 アイヌ の人 たち の 歴史 ・ 文化 等	東アジアとの貿易と交流（P86）	囲み	「蝦夷」を「アイヌ」とみなした最初の文献は、1356年の『諏訪大明神絵詞』とされています。
	東アジアとの貿易と交流（P87）	本文	蝦夷地との交易 蝦夷地（北海道）では、アイヌとよばれる人々が、狩猟や漁業を行っていましたが、14世紀ごろに、津軽（青森県）の十三湊を拠点にした交易が始まると、鮭・昆布・毛皮などをもたらしました。
	鎖国日本の4つの窓口（P124）	本文	朝鮮・琉球・蝦夷地 蝦夷地（北海道）の南部を支配した松前藩は、漁労に従事するアイヌとの交易権を独占し、海産物や熊・アザラシの毛皮などを入手していました。
	鎖国日本の4つの窓口（P125）	本文	朝鮮・琉球・蝦夷地 1669年（寛文9年）、アイヌは松前藩が貿易を独占することへの反発から、シャクシャインを統領として蜂起しました。
		写真	松前藩とアイヌの人々との交易の儀式
	近隣諸国との国境画定（P172）	本文	北方の領土画定 北方の樺太（サハリン）に住んでいたアイヌの人々は日本人と考えられていました。
	日本の近代化とアイヌ（P175）	見出し	日本の近代化とアイヌ 日本政府が北海道の開拓に乗り出したとき、アイヌの人たちをどう扱ったのだろうか。
		見出し	アイヌの人々の文化と生活
		見出し	アイヌの保護と日本国民化
		見出し	アイヌ文化振興法
		絵	クナシリ島のアイヌの人々に種痘を施す江戸幕府の医師
		本文	アイヌの人々は、12世紀から13世紀にかけて、殺した熊の魂を神のもとに送り返すイヨマンテという祭りや音楽など、特色のあるアイヌ文化をはぐくみました。
	年表（折り込み）	年表	アイヌの族長シャクシャインが蜂起し、松前藩と戦う
北方 領 土	欧米諸国の日本接近（P138）	地図	欧米諸国の船が目撃された件数 国後島、択捉島
		本文	ロシアの接近 その後、樺太や択捉島にある日本人の居留地を襲撃し日本人を殺傷しました。
	近隣諸国との国境画定（P172）	地図	樺太・千島交換条約 歯舞諸島、色丹島、国後島、択捉島
		本文	北方の領土画定 1855年、幕府はロシアと日露和親条約を結び、択捉島と得撫島の間を国境と決めました。
	日本の近代化とアイヌ（P175）	絵	クナシリ島のアイヌの人々に種痘を施す江戸幕府の医師

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
自由社	北方領土	戦時国際法と戦争犯罪（P247）	本文	違法なシベリア抑留 ソ連は日本の降伏後も信仰をやめず、日本固有の領土である北方４島の占領を終えたときには、すでに９月になっていました。
		独立の回復と領土の問題（P262）	囲み	日本は独立を回復したが、なぜ北方領土を取り戻せなかったのだろうか。
			本文	講和条約と日米安保条約 終戦直後、ソ連は北方領土の国後・択捉島などを不法占拠したため、日ソ間では平和条約を締結できませんでした。
			見出し	北方領土と日ソ交渉
		独立の回復と領土の問題（P263）	本文	北方領土と日ソ交渉 ソ連は北方４島のうち、歯舞、色丹の２島だけ返還するとの姿勢を示しました。
			囲み	北方領土 しかし国後島、択捉島、色丹島、歯舞群島の北方４島は、その千島列島には含まれず、日本が一度も領有を放棄したことの無い固有の領土であるというのが日本政府の立場です。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
育 鵬 社	アイヌの 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	見出し	琉球、アイヌとアジアの交易
		囲み	蝦夷地に住んでいた人々のことで、アイヌとは「人」を意味する。
	琉球、アイヌとアジアの交易 (P87)	地図	15世紀ごろの琉球王国とアイヌの交易ルート
		見出し	アイヌ民族の交易
		本文	アイヌ民族の交易 蝦夷地(北海道)には、狩猟や漁をして生活する人たちが住んでいましたが、13世紀にはアイヌの文化が生まれるようになりました。
		囲み	琉球やアイヌの人々が、どのように周辺地域とつながりを持っていったか、本文からぬき出して書きましょう。
	学習のまとめ②中世の時代をふり返って考えてみよう (P95)	本文	アイヌが独自の社会と文化を築く。
	「鎖国」の時代に開かれていた窓口 (P118)	本文	蝦夷地との交易 幕府はその南端に松前藩を置き、蝦夷地のアイヌとの交易の独占を認めていました。
		絵	オムシャ 毎年、アイヌの人々を集めて交易の規則を伝えた儀式
		写真	蝦夷錦 アイヌの人々の交易によって、樺太経由で日本にもたらされた。
	「鎖国」の時代に開かれていた窓口 (P119)	本文	蝦夷地との交易 その後、交易場所を一方的に決めたり、不当な取り引きを行う松前藩に不満を持ったアイヌの人々は、首長のシャクシャインを指導者として立ち上がり、松前藩と戦いましたが、鎮圧されました。
		本文	アイヌとの交易とその支配が行われる。
	明治初期の外交と国境の画定 (P176)	本文	北方の国境と守り 一方、アイヌの人々は、開拓が進むにつれて土地や漁場を失い、生活に困るようになり、独自の文化も失われていきました。
		囲み	1899(明治32)年には、北海道旧土人保護法が制定され、アイヌの人々に土地をあたえて農業を奨励し、医療、生活扶助、教育などの保護対策を行うなど、日本国民との同化が進められた。
	社会運動の広がりや男子普通選挙の実現 (P217)	本文	差別からの解放運動 北海道ではアイヌの人々の解放運動が起こり、1930(昭和5)年に北海道アイヌ協会が結成され、社会的地位の向上を訴えました。
		囲み	1997(平成9)年には、アイヌ文化振興法が定められ、北海道旧土人保護法は、廃止した。
	日本列島・歴史の宝庫ー各地の主な遺跡・史跡 (巻末5)	地図	シベチャリ砦跡

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
育 鵬 社	北 方 領 土	欧米諸国の接近 (P134)	本文	ロシアの接近 そのため、ロシア船が樺太や択捉島に攻撃を加えてきました。
			囲み	②1811年、幕府は国後島に上陸したロシア軍艦 艦長ゴローウニンを捕らえ、ロシアは海運商人 高田屋嘉兵衛を捕らえました。
		欧米諸国の接近 (P135)	地図	北方探検地図 国後島、択捉島
			地図	主な外国船の接近 国後島
		明治初期の外交と国境の画定 (P176)	本文	北方の国境と守り 1854（安政元）年の日露和親条約（日ロ通好 条約）で択捉島から南は日本領、得撫島から北 の千島列島は、ロシア領と決めていました。
		学習のまとめ④近世①の時代をふり 返って考えてみよう (P203)	地図	北方領土に点線の囲み
		第二次世界大戦の終結 (P238)	囲み	ソ連軍は終戦後に択捉島以南に進行し、ソ連が ロシアになった今日に至るまで不法占拠してい る（北方領土問題）
		占領下の日本 (P249)	本文	海外からの引きあげ 終戦後に千島列島に侵攻したソ連軍は、さら に北方領土を不法占拠しました。
		独立の回復と安保条約 (P255)	本文	平和条約と国連加盟 ソ連とは、北方領土問題が未解決なため平和 条約を結ばず、1956（昭和31）年、鳩山一郎内 閣が日ソ共同宣言を結んで国交を回復しました。
		日本の領土をめぐる問題 (P256)	見出し	北方領土
			本文	北海道の北東にある歯舞群島、色丹島、国後 島、択捉島は北方領土とよび、一度も外国の領 土になったことのない日本固有の領土です。
			地図	北方領土に関する年表
			囲み	元島民の声：山本昭平さん（当時17歳、択捉島）
			写真	択捉島で開かれた交流会でロシア人住民に折り 鶴の工作を指導するビザなし交流団員
		日本の領土をめぐる問題 (P257)	本文	尖閣諸島 北方領土や竹島とちがって、日本が実効支配 （実際に統治）していて、政府は解決すべき領 有権の問題は存在しないとの立場です。
			囲み	日本の領土の北方領土、竹島、尖閣諸島につい て、それぞれの歴史的経緯をグループで調べて まとめましょう。
		日本と近隣諸国の変化 (P269)	本文	近隣諸国との関係 ロシアは、北方領土（北海道）を不法占拠して おり、日本政府は、領土問題を解決したうえ での平和条約締結を目指しています。
		日本列島・歴史の宝庫－各地の主な 遺跡・史跡（巻末5）	地図	国後島 択捉島 色丹島 歯舞群島

様式 5

様式 4 の調査項目②〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
学 び 舎 の 人 た ち の 歴 史 ・ 文 化 等	年代のあらわし方、時代の区切り方 (P9)	年表	アイヌ文化
	一つにつながるユーラシア (P69)	囲み	元を攻撃したカラフト（サハリン）のアイヌ
	アジアの海をつなぐ王国 (P81)	本文	国際貿易港・十三湊 蝦夷地（北海道）から来るアイヌの船や、近畿地方と行き来する船が港に出入りし、日本海航路の中心としてにぎわいました。
		囲み	アイヌの人びとがになう北方の交易
		写真	ラッコ アイヌはモリでとった。「ラッコ」はアイヌ語。
		地図	15世紀アジアの海上交易路 アイヌの居住地
	日本町が消える (P102)	見出し	外国やアイヌの人びととの関係はどう変わっていくのだろう。
	日本町が消える (P103)	本文	海外への四つの口 このほか、対馬藩（長崎県）を通じて朝鮮と交流し、薩摩藩（鹿児島県）を通じて琉球（沖縄県）と、松前藩（北海道）を通じてアイヌと交易しました。
		地図	1630年ごろの東アジア・東南アジア アイヌの居住地
	北の海から来た昆布 (P114)	見出し	アイヌの人びとが採集した昆布は、どこへ運ばれていったか。アイヌの暮らしはどうなったか。
		本文	昆布をとるアイヌの人びと 昆布は、蝦夷地（北海道）で、アイヌの人びとが採取していました。
		囲み	エミシとエゾ 鎌倉時代以降になると、主として北海道に住む人びと（アイヌとその祖先）をエゾとよび、これも「蝦夷」と書いた。
		絵	昆布などを交易の場所（運上屋）に持ち込むアイヌの人びと
		絵	昆布をとるアイヌの人びと
		絵	アイヌの首長・イコトイ
	北の海から来た昆布 (P115)	本文	戦うアイヌの人びと 苦しい状況に追いやられたアイヌの人びとに、1669年、首長シャクシャインが、結束をよびかけました。
		囲み	交易の拡大 18世紀後半には、蝦夷地の和人商人がクナシリ島に入り、アイヌと交易し、ラッコの毛皮などを手に入れた。
	北からの黒船 (P128)	囲み	ラクスマンと大黒屋光太夫 ロシア側は、蝦夷地の地図を写し、根室周辺を測量し、アイヌと和人商人との関係を聞き取りました。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
学び舎	アイヌの人たちの歴史・文化等	第5章をふりかえる (P134)	年表	アイヌの首長（ ）らが戦いを起こす
		第5章をふりかえる (P135)	絵	昆布をとるアイヌの人びと
		北・南を組み込み、国境を引く (P176)	囲み	東京に出て日本語を学んだアイヌの人たち 1872年、琴似（札幌市）出身のマタイチ（日本名・琴似又一郎）たち35人のアイヌ（9人は女性）が、東京に向かいました。
			本文	北でー蝦夷地が日本に組み込まれる ここに住んでいたのは、人口数万人といわれるアイヌの人びとです。
			囲み	アイヌの文化 1997年、「北海道旧土人保護法」は廃止され、アイヌの人びとの民族としての誇りが尊重される社会の実現を目的とするアイヌ文化振興法が成立した。
			地図	松浦武四郎がつくった蝦夷地の地図 北海道の市町村名の約8割がアイヌ語に由来している。
			写真	東京で学ぶアイヌの女性たち（1872年）
		北・南を組み込み、国境を引く (P177)	本文	北でー蝦夷地が日本に組み込まれる 日本政府は、樺太のアイヌは日本人だとして、北海道に移住させました。
		9世紀～14世紀 (P284)	年表	アイヌ文化の時代 十三湊でアイヌが交易を行う
		15世紀～18世紀 (P286)	年表	アイヌ文化の時代 蝦夷地でコシャマインらが戦いを起こす 蝦夷地でシャクシャインらが戦いを起こす 蝦夷地のクナシリでアイヌが戦いを起こす
		19世紀 (P288)	年表	アイヌ文化の時代 北海道旧土人保護法を定める
		20世紀～21世紀 (P292)	年表	アイヌ文化振興法が成立する
		歴史地図	地図	シャクシャインの戦い、シベチャリ砦跡
	北方領土	北の海から来た昆布 (P115)	本文	戦うアイヌの人びと 1789年にも、クナシリなどのアイヌの人びとは、和人に対する戦いを起こしました。
			囲み	交易の拡大 18世紀後半には、蝦夷地の和人商人がクナシリ島に入り、アイヌと交易し、ラッコの毛皮などを手に入れた。
			地図	蝦夷錦と昆布の交易ルート クナシリ
		北からの黒船 (P129)	地図	北方探検の行路 国後島、択捉島
		北・南を組み込み、国境を引く (P176)	地図	松浦武四郎がつくった蝦夷地の地図 エトロフ島、クナシリ島
		インドも中国も来なかった (P257)	本文	日本が独立する 1956年には日ソ共同宣言によって、北方領土問題は未解決のままソ連と国交を回復し、国連への加盟が認められました。

者	内	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
学 び 舎	北 方 領 土	インドも中国も来なかった(P257)	囲み	北方領土問題 日本政府は、北方四島は日本固有の領土であり、その帰属の問題を解決してロシアとの平和条約を結ぶとの基本方針にもとづいて、交渉を行っている。
		15世紀～18世紀(P286)	年表	蝦夷地のクナシリでアイヌが戦いを起こす
		歴史地図	地図	歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
令書 アイヌの人たちの歴史・文化等	琉球と蝦夷地 (P161)	本文	琉球と蝦夷地 蝦夷地(北海道)には縄文人の子孫であるアイヌ人が住んでいました。
	琉球と蝦夷地 (P162)	絵	アイヌのイオマンテ
		絵	イオマンテの饗宴
	琉球と蝦夷地 (P163)	本文	琉球と蝦夷地 アイヌ人は主に狩猟や漁業をしていました。
	年表 (P181)	年表	コシャマインの戦い
	鎖国下の対外窓口 (P217)	囲み	アイヌの伝統や社会はどのように失われていったのだろう。
		本文	鎖国下の対外窓口 さて、幕府は蝦夷地(北海道)の南端に松前藩を置き、松前藩に対アイヌ交易の独占を認めました。
	鎖国下の対外窓口 (P218)	絵	蝦夷国風絵図 アイヌの参賀の礼
	鎖国下の対外窓口 (P219)	本文	鎖国下の対外窓口 アイヌの人々は首長のシャクシャインを中心に和人を襲いました。
	年表 (P266)	年表	シャクシャインの戦い
	領土画定と朝鮮政策 (P300)	本文	領土画定と朝鮮政策 アイヌの同化政策により、アイヌの文化や慣習は圧迫されていきました。
	領土画定と朝鮮政策 (P302)	年表	明治・大正期の北海道 北海道旧土人保護法
	政権担当者・出来事対照表	表	コシャマインの戦い シャクシャインの戦い
北方領土	押し寄せる欧米諸国 (P246)	地図	押し寄せる列強 択捉島 国後島 色丹島 歯舞群島
		囲み	ゴローニン事件 これは、レザノフの部下による樺太・択捉島の襲撃事件に対する報復だった。
	押し寄せる欧米諸国 (P247)	本文	押し寄せる欧米諸国 樺太、択捉島の日本人部落が襲われ、利尻島沖の日本船が攻撃されました。
	幕府に下った「海防の勅」(P249)	本文	幕府に下った「海防の勅」 それとは別に、光格天皇治世の文化年間に樺太、択捉、利尻がロシア軍艦の攻撃を受けたことを、幕府が自発的に朝廷に報告したことが影響していると考えられます。
	ペリー来航と開国 (P251)	囲み	安政2年(1855)にロシアと締結した日露和親条約では、択捉島と得撫島の間に国境線が引かれ、択捉島以南を日本領、得撫島以北をロシア領とした。また、樺太(サハリン)は両国人の雑居地とされた。

者	内容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
令書	北方領土	領土画定と朝鮮政策 (P299)	本文	領土画定と朝鮮政策 幕末の安政元年(一八五四)に締結された日露和親条約で、択捉島と得撫島の間に国境線が引かれ、樺太においては国境を設けず、これまでどおり両国民の混住の地とすると決められました。
		領土画定と朝鮮政策 (P300)	本文	領土画定と朝鮮政策 ところで北方領土（歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島）は、一貫して我が国固有の領土です。
		領土画定と朝鮮政策 (P301)	地図	北方領土、千島列島、樺太の領有 国後島 択捉島 色丹島 歯舞群島
		三線殉難事件 (P401)	囲み	樺太を占拠したソ連軍の一部は日本固有の領土である北方領土を占拠しました。
		冷戦と朝鮮戦争 (P422)	本文	冷戦と朝鮮戦争 ソ連は日ソ中立条約を破って日本に侵攻し、南樺太と千島列島と北方領土を軍事力で奪っただけでなく、多くの民間人を殺し、あるいは捕虜として強制労働させました。
		冷戦と朝鮮戦争 (P423)	本文	冷戦と朝鮮戦争 北方領土は終戦の混乱に紛れて、ソ連に不法に占拠されました。
		緊張する東アジア情勢 (P443)	本文	緊張する東アジア情勢 北方領土問題は、平和条約締結を含めて交渉が進められていますが、まだ返還の具体的な話し合いに入れないのが現状です。
		巻末口絵 (P486)	地図	ソ連の樺太・千島への侵攻 国後島 択捉島 色丹島 歯舞群島

社 会

(公民的分野)

社会の目標について
<p>【教科の目標】</p> <p>社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
<p>【学年・分野・領域等の目標など】</p> <p>〔公民的分野〕</p> <p>現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数 100単位時間

様式 2

観 点 ／ 番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
	2・東書	第3学年	公民・002-92	新編 新しい社会 公民
取 扱 内 容 〔 学 習 指 導 要 領 の 総 則 及 び 各 教 科 、 各 学 年 の 目 標 、 内 容 等 〕 、 内 容 の 構 成 ・ 排 列	<p>○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本で暮らす外国人の数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動の体育館利用の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、ケーキの価格の決まり方について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、日本の少子高齢化による日本の社会保障への影響について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、憲法改正の手続きについて、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、選挙シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の難民発生数について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちのくらしと経済」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、経済活動の意義や市場経済について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成と排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使 用 上 の 配 慮 等	<p>○ 地方自治にかかわる学習においては、芽室町の議会改革・活性化について、人権にかかわる学習においては、旭川市のアイヌ語の地名表示板について掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 単元の学習課題を立てる「導入の活動」や単元の学習課題を解決する「まとめの活動」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
そ の 他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		17・教出	第3学年	公民・017-92	中学社会 公民 ともに生きる
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、総人口と年齢別人口の割合（人口ピラミッド）について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、合唱コンクールの練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、キャベツの月別の入荷量と平均価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、社会保障費の給付と負担のこれからについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、男女の平均賃金の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、選挙のしくみや裁判員裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、ユニセフが支援する学校について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な未来の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動			
		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「安心して豊かに暮らせる社会」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、社会資本の整備や環境の保全について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。			
内容の構成・排列		○ 内容の構成と排列については、「私たちの暮らしと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な未来の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使用上の配慮等		○ 地方自治にかかわる学習においては、倶知安町のみんなで親しむ雪条例について、人権にかかわる学習においては、名寄市の「コロナいじめゼロ宣言」のポスターを掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 生徒の生活体験から単元の学習課題を捉える「ウォーミングアップ！公民」や章・節の学習を振り返る「学習のまとめと表現」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。			
その他		※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		46・帝国	第3学年	公民・046-92	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、主な情報機器の保有状況について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、マンションの騒音問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、みかんの入荷量と価格について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、赤字路線バスの事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、婚姻平等の議論について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、スイスの直接民主制や少年議会について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界で頻発する異常気象について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の形成」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 			
		<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「経済活動と私たち」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、経済活動の意義や金融のしくみと働きについて調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成と排列については、「現代社会と私たち」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 現代社会における文化にかかわる学習においては、北海道のアイヌ民族が受け継いできたアイヌ文化について、地方自治にかかわる学習においては、旭川市の旭山動物園条例について掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ イラストを読み解き、単元の見通しをもつ「学習の前に」や単元の学習を振り返る「学習を振り返ろう」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書を活用した学び方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		116・日文	第3学年	公民・116-92	中学社会 公民的分野
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、日本の貿易と企業の海外進出について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、合唱コンクールの練習場割り当ての事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、トマトの価格の決まり方について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、社会保障制度の給付と負担のイメージについて、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、ハンセン病訴訟について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、裁判員裁判シミュレーションや模擬裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の実現」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「国民主権と日本の政治」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、政党の役割や地方自治の基本的な考え方について調べ、国民の政治参加について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>			
		<p>○ 内容の構成と排列については、「私たちと現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の実現についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 日本の伝統文化にかかわる学習においては、白老町の国立アイヌ民族博物館について、地方自治にかかわる学習においては、夕張市の寄付を活用した取り組みについて掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 身近な事例から単元の学習課題を立てる「学習のはじめに」や単元の学習課題を解決する「まとめとふり返し」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインフォントを使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		225・自由社	第3学年	公民・225-92	新しい公民教科書
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。 ・「私たちと現代社会」において、日本の人口ピラミッドの変化について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、体育館使用問題の事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、均衡価格の決定について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決め方を理解したり、主要国の国民負担率について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、新しい権利について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、政党の役割や裁判員制度について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の人口予測について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動			
内 容 の 構 成 ・ 排 列		○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「国際社会に生きる日本」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、国家間の相互の主権の尊重や国際機構の役割について調べ、国際社会における我が国の役割について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。 ○ 内容の構成と排列については、「現代社会の自画像、個人と社会生活」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。			
使 用 上 の 配 慮 等	○ 地方自治にかかわる学習においては、北海道胆振東部地震を、日本の伝統工芸品にかかわる学習においては、日高地方の二風谷アットゥシについて掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 発展的に学習して理解を深める「もっと知りたい」や各章の学習を強化したり深めたりする「学習のまとめと発展」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。 ○ 教科書の使い方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、重要語句にゴシック体を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、インターネットでの検索方法を掲載するなど、使用上の便宜が図られている。				
そ の 他	※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による ○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。				

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		227・育鵬社	第3学年	公民・227-92	新しいみんなの公民
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 公民的分野の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「私たちと現代社会」において、伝統工芸品の生産額・従業者数の推移について、位置や空間的な広がり、推移や変化などに着目して、現代日本の特色を理解したり、部活動のグラウンド割りの事例について、対立と合意、効率と公正などに着目して、社会生活における物事の決定の仕方を考察したりする活動 ・「私たちと経済」において、トマトの価格の決まり方について、分業と交換、希少性などに着目して、市場経済の基本的な考え方や市場における価格の決まり方を理解したり、社会保障給付費の推移について、対立と合意、効率と公正などに着目して、国や地方公共団体が果たす役割を考察したりする活動 ・「私たちと政治」において、女性の年齢別労働力率の推移について、個人の尊重と法の支配などに着目して、民主的な社会生活を営むためには、法に基づく政治が大切であることを理解したり、新聞の世論調査や裁判員裁判について、民主主義などに着目して、民主政治の推進と国民の政治参加との関連を考察したりする活動 ・「私たちと国際社会の諸課題」において、世界の飢餓状況について、協調、持続可能性などに着目して、国際連合をはじめとする国際機構の役割を理解したり、「持続可能な社会の構築」をテーマとして、よりよい社会を築いていくために解決すべき課題を考察、構想し、自分の考えを説明、論述したりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「私たちの生活と経済」の学習において、学習課題を設定し、見通しをもたせるとともに、金融の働きや財政及び租税の意義について調べ、市場の働きに委ねることが難しい諸問題について話し合い、考えを広げたり深めたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p>			
		<p>○ 内容の構成と排列については、「私たちの生活と現代社会」において、現代社会の見方・考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の構築についての課題を探究する活動を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 人権にかかわる学習においては、札幌市の車いすのまま乗れるユニバーサルデザインタクシーの写真を、生産と労働にかかわる学習においては、根室花咲港のサンマの水揚げの写真を掲載するなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</p> <p>○ 章全体の学習内容の趣旨をとらえさせる「入り口」や章の学習を活かして学びを深める「これから」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。</p> <p>○ 教科書の構成と学習の仕方について説明するページを設けたり、全ての生徒が学習しやすいよう、判別しやすい色を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。</p>			
その他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

＜公民的分野の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- ① 大項目（「私たちと現代社会」「私たちと経済」「私たちと政治」「私たちと国際社会の諸課題」）ごとのページ数及び総ページ数
- ② 自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数
- ③ 北海道とかかわりのある内容（北海道に関する社会的事象）を取り上げているページ数及び箇所数
 - (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数
 - (2) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数
 - (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数

◎調査対象項目にした理由

- ① 学習指導要領に示されている公民的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、大項目ごとや全体としての分量について把握する必要があるため。
- ② 自然災害における関係機関の役割等に関する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。
- ③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目				発行者	東書	教出	帝国	日 文	自由社	育鵬社
①	大項目ごとのページ数及び総ページ数	私たちと現代社会	ページ数	33	26	28	32	42	28	
			全体に占める割合	13%	10%	11%	12%	16%	11%	
		私たちと経済	ページ数	52	64	66	60	44	54	
			全体に占める割合	21%	24%	25%	22%	16%	21%	
		私たちと政治	ページ数	92	90	86	90	78	80	
			全体に占める割合	37%	33%	33%	33%	29%	30%	
		私たちと国際社会の諸課題	ページ数	43	44	43	43	60	45	
			全体に占める割合	18%	16%	16%	15%	22%	17%	
		その他	ページ数	26	45	39	49	46	55	
			全体に占める割合	11%	17%	15%	18%	17%	21%	
		総ページ数			246	269	262	274	270	262
		前回の総ページ数			262	272	246	264	256	256
		増減			-6%	-1%	7%	4%	5%	2%
②	自然災害及び防災に関する内容を取り上げているページ数			39	41	35	40	24	32	
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数		10	4	6	3	1	5	
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数		4	4	2	3	5	6	
		道内の市町村等を取り上げている箇所数		16	20	2	10	3	7	

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目③「北海道とかかわりのある内容」の具体的な内容

者 種	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書 アイヌの人たちの歴史・文化等	伝統文化の継承と新たな文化の創造（P21）	文章	アイヌ文化は、北海道や樺太（サハリン）、千島列島の先住民族だったアイヌ民族が受けついできた文化です。
		写真	アイヌ民族の伝統的な舞踏（サロルンリムセ鶴の踊り）
		写真	アットゥシ
	個人の尊重と日本国憲法（P37）	文章	アイヌをはじめとした先住民の人々の権利や文化は、どのように守られてきたのかな。
		写真	アイヌ民族の伝統行事「ししゃも祭」
	基本的人権と個人の尊重（P48） 平等権①（P50）	写真	アイヌ語弁論大会（イタカンロー）の様子
		写真	アイヌ語弁論大会（イタカンロー）の様子と弁論の内容
		文章	アイヌ語は日本語とは異なるアイヌ民族の独自の言語です。
		文章	アイヌ語に由来する地名は、その土地の自然や環境、歴史、アイヌの人たちの自然観や伝統的な生活との関わりを伝えてくれる貴重な文化です。
		写真	アイヌ語の地名表示板
	平等権①（P51）	文章	2014（平成26）年に、アイヌ文化の復興等に関するナショナルセンターを北海道白老町に造ることが閣議決定されました。など
		写真	民族共生象徴空間（ウポポイ）の様子
		地図	民族共生象徴空間の地図
		文章	アイヌ民族は、独自の言葉や文化を持ち、古くから北海道を中心に生活してきました。など
	グローバル社会と人権（P69）	文章	日本のアイヌ民族などの、先住民族の権利を保障する国際的な努力によって、2007（平成19）年には、国連で「先住民族の権利に関する国連宣言」が採択されました。
	もっと知りたい！ 先住民族としてのアイヌ民族（P74）	表	世界の主な先住民族
		写真	国際連合で演説する野村儀一
		写真	国会で演説する萱野茂
		文章	日本ではアイヌ民族が「先住民族」といえます。など
	もっと知りたい！ 先住民族としてのアイヌ民族（P75）	資料	アイヌ語ラジオ講座のテキスト
		資料	アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議
		文章	北海道白老町のポロト湖畔には「民族共生象徴空間（ウポポイ）」が設けられ、アイヌの歴史や文化を学び伝えることでアイヌ文化の継承が目指されています。など
		文章	明治時代以降のアイヌ民族に対する政策の問題点を、「公正」の観点から説明しましょう。
	参考法令集（P226）	資料	アイヌ民族支援法
	現代社会の歩み（巻末 1）	年表	アイヌ文化振興法制定、アイヌ民族支援法制定
北 方	国際社会における国家（P185）	地図	日本の領域と排他的経済水域（北方領土が図示）
	領土をめぐる問題の現状（P186）	文章	韓国やロシアに不法に占拠され、抗議を続けて

教 出	領 土			いる竹島や北方領土、また、日本固有の領土であり、領土問題は存在しない一方で、中国や台湾が領土権を主張している尖閣諸島がそれに当たります。
			地図	日本の領域と排他的経済水域（北方領土が図示）
		領土をめぐる問題の現状（P187）	文章	歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方四島は、太平洋線が終わるまでは、約1万7000人の日本人が生活していました。
			写真	北海道の根室半島上空から見た歯舞群島
			地図	北方四島の位置
		第5章の学習をまとめよう（P210）	語句	竹島・北方領土・尖閣諸島
	アイヌの人たちの歴史・文化等	伝統文化の継承と新たな文化の創造（P25）	写真	アイヌの古式舞踊を披露する人たち
		差別をしない、させない 平等権①（P51）	写真	民族共生象徴空間「ウポポイ」
			写真	国会で質問する萱野茂さん
			文章	アイヌ民族は、北海道や樺太（サハリン）、千島列島の主な居住地として、長い間、独自の文化と歴史を築き上げてきました。など
			文章	政府の責任として、アイヌ語やアイヌ文化の継承者の育成、調査・研究、国民への啓発などの文化振興策を行うことを決めました。
		諸法令集（P250）	資料	アイヌ施策推進法
		用語解説（P256）		アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議とアイヌ施策推進法
		なぜ、沖縄に米軍基地が集中しているのだろう（P78）	地図	北方領土が図示
		日本の領土めぐって（P198）	写真	「北方領土の日」の住民大会
			写真	北方領土返還を求める看板
			地図	北方領土
			文章	北海道の東にある歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の北方領土や、日本海に位置する竹島（島根県）は、歴史的にも国際法のうえでも日本固有の領土であるというのが、日本政府の立場です。など
		日本の領土めぐって（P199）	地図	日本の国土とその周辺（北方領土が図示）
			文章	北方領土は、第二次世界大戦の終結後にソ連に占拠され、現在はロシアに引き継がれています。など
		なぜ、外交の役割は重要なのだろう（P201）	写真	折り紙などが行われた、択捉島での文化交流会
			文章	日本政府は、ロシアとの北方領土の返還交渉を長期にわたって続けていました。など
帝 国	アイヌの人たちの歴史	日本の文化とその継承（P15）	文章	北海道や千島列島などの先住民族であるアイヌ民族が受け継いできたアイヌ文化があります。
		平等権の実現に向けて（P50）	文章	アイヌ民族は、北海道や樺太島、千島列島を中心に、固有の文化や言葉をもって暮らしていました。など
			文章	2007年に国連総会で「先住民族の権利に関する国際連合宣言」が採択されたことを受け、08年には国会でアイヌの人々を先住民族とすることを求める決議がなされていました。

史・文化等	平等権の実現に向けて（P51）	文章	アイヌ文化研修者であり、自身もアイヌ民族の萱野茂さん（1926～2006年）は、「言葉こそ民族の証」という信念の下、多くの古老を訪ねてアイヌ語を記録し、言葉を残し伝える取組を続けてきました。など
		写真	国会で質問をする萱野茂議員
		写真	アイヌ民族の伝統的な踊り
		資料	萱野茂議員の国会での発言
	国家と国際社会（P185）	文章	また、国連による先住民族の権利に関する国際連合宣言の採択を受け、アイヌ民族を初めて「先住民族」と明記したアイヌ施策推進法が19年に成立しています。
		資料（P235）	資料 アイヌ施策推進法
		第二次世界大戦後の歩み（巻末1）	年表 アイヌ施策推進法施行
	北方領土	領土をめぐる取組（P186）	文章 北海道の東にある北方領土とよばれる歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島は日本固有の領土です。など
		領土をめぐる取組（P187）	地図 日本の排他的経済水域（北方領土が図示）
			地図 北方領土の歩み（北方領土が図示）
日文	アイヌの人たちの歴史・文化等	日本の伝統文化の特色と文化の創造（P20）	写真 国立アイヌ民族博物館
		等しく生きる権利（P53）	写真 国会で質問をする萱野茂議員
			写真 アイヌ語弁論大会 イタカン ロー
		文章	日本は、単一民族・単一言語の国ではなく、アイヌ民族が主に北海道に先住していました。など
	北方領土	法令集（P243）	文章 アイヌ施策の推進は、アイヌの人々の民族としての誇りが尊重されるよう、アイヌの人々の誇りの源泉であるアイヌの伝統等並びに我が国を含む国際社会において重要な課題である多様な民族の共生及び多様な文化の発展についての国民の理解を深めることを旨として、行われなければならない。
		日本の領土をめぐる問題（P194）	地図 日本の領土と排他的経済水域（北方領土が図示）
			文章 北海道根室沖の歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は北方領土とよばれ、歴史的に日本固有の領土です。など
		日本の領土をめぐる問題（P195）	地図 北方領土周辺
			文章 北方領土や竹島へは渡航ができず、周辺で水産資源や鉱産資源が豊富ですが、漁業や海洋資源開発を行うことが制限されています。
		日本の領土をめぐる問題の解決に向けて（P196）	文章 日本の松前藩は、17世紀には徐々に北方領土の統治を進めていました。
			写真 元島民らによる洋上慰霊
自由社	アイヌの人たちの歴史・文化等	日本の伝統文化（P261）	写真 二風谷アットウシ
		北方領土	文章 わが国には、北方領土問題、竹島問題の2つの重大な領土問題があります。北方領土と竹島は、歴史的にも国際法的にもわが国固有の領土ですが、ロシアと韓国が不法にそれぞれ占拠してい

			ます。
		地図	わが国の領域（北方領土が図示）
	もっと知りたい わが国の領土問題（P170）	文章	歯舞群島・色丹・国後・択捉、4島からなる北方領土は、これまで一度も外国の領土になったことのないわが国固有の領土である。など
	もっと知りたい わが国の領土問題（P171）	年表	北方領土問題の主な歴史
	現代社会の歩み（P252）	年表	終戦後、ソ連による北方領土占拠
	裏表紙	地図	わが国の領域（北方領土が図示）
育 鵬 社	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	写真	アイヌの古式舞踊
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	語句	アイヌの人々
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	文章	このほか、性的嗜好や性自認に関する不当な差別や、アイヌの人々への差別、ハンセン病の元患者やH I V感染者・エイズ患者、新型コロナ患者などへの偏見も克服しなければいけない課題となっています。
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	文章	アイヌ語とアイヌ文化の継承に大きな役割を果たした人物に知里幸恵という女性がいます。など
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	文章	アイヌ語やアイヌ文化について「ウポポイ（民族共生象徴空間）」のホームページ等を見て調べてみましょう。
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	写真	知里幸恵
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	資料	アイヌ文化振興法
	アイヌの 人々 の歴史・ 文化等	資料	アイヌ文化振興法
	北方領土	地図	日本の排他的経済水域と延長大陸棚（択捉島が図示）
	北方領土	文章	北海道に属する北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）、島根県の竹島は、どちらも日本の固有の領土（どちらも一度も外国の領土になったことがない土地）ですが、それぞれ、ロシア、韓国が領有を主張し、不法占拠（国際法の根拠がないまま占領）しています。
	領土・領海をめぐる問題（P190）	文章	北海道に属する北方領土（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）、島根県の竹島は、どちらも日本の固有の領土（どちらも一度も外国の領土になったことがない土地）ですが、それぞれ、ロシア、韓国が領有を主張し、不法占拠（国際法の根拠がないまま占領）しています。
	領土・領海をめぐる問題（P191）	文章	北方四島（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）は日本固有の領土です。など
	領土・領海をめぐる問題（P191）	地図	日本の主権範囲（北方領土が図示）
	領土・領海をめぐる問題（P191）	写真	北方領土
	日本の領土をめぐる問題（P192）	文章	北方四島（択捉島、国後島、色丹島、歯舞群島）は、日本の固有の領土です。など
	日本の領土をめぐる問題（P192）	写真	択捉島の街並み
	日本の領土をめぐる問題（P192）	地図	北方領土
	日本の領土をめぐる問題（P193）	文章	北方領土や竹島、尖閣諸島について現在の状況を外務省ウェブサイト等で調べてみましょう。
	戦後の日本と世界の主な出来事（P216）	年表	ソ連、北方領土を占拠

地 図

社会の目標について

【教科の目標】

社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土や歴史に対する愛情、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

【学年・分野・領域等の目標など】

〔地理的分野〕

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。

〔歴史的分野〕

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

〔公民的分野〕

現代社会の見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 個人の尊厳と人権の尊重の意義、特に自由・権利と責任・義務との関係を広い視野から正しく認識し、民主主義、民主政治の意義、国民の生活の向上と経済活動との関わり、現代の社会生活及び国際関係などについて、個人と社会との関わりを中心に理解を深めるとともに、諸資料から現代の社会的事象に関する情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を現代の社会生活と関連付けて多面的・多角的に考察したり、現代社会に見られる課題について公正に判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 現代の社会的事象について、現代社会に見られる課題の解決を視野に主体的に社会に関わろうとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

【参考】

○ 目標の改善

中学校社会科における目標については、小学校社会科との接続はもちろん、高等学校地理歴史科や公民科との接続も踏まえ、学校種の違いによる発達段階や分野の特質に応じて、柱書と三つの資質・能力からなる目標を設定した。その際、従前からの学習指導要領における目標の趣旨を引き継ぎつつ、社会の変化に伴い、中学校社会科学習に求められる状況などを踏まえ、改善を図ることとした。

具体的には、小・中学校の一貫性の観点から、社会科が目指す究極のねらいに当たる文言については、小学校、中学校とも「グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎」という共通の文言にし、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」に関わる(1)から(3)までの目標においては、各分野の特質を表す規定となるよう整理した。

○ 標準授業時数

地理的分野－115単位時間 歴史的分野－135単位時間 公民的分野－100単位時間

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		2・東書	第1・2・3学年	地図・002-72	新編 新しい社会 地図
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「世界全図」において、海洋や極地に着目した地図から地球全体の姿を比較したり、地形や気候を調べたりする活動・「世界州別図」において、学習テーマに沿って、地域や経年変化を比較したり、国名や主要な都市名、自然地名を調べたりする活動・「世界の資料図」において、世界の地形や気候、人々の生活や文化、産業などを調べたり、複数の資料から特色を読み取ったりする活動・「日本全図」において、各地の祭りや伝統工芸品などを調べたり、領土をめぐる問題を抱えている島々を地図や写真で示し、日本の領域を読み取ったりする活動・「日本地域別詳細図」において、縮尺を100万分の1に統一した地図から、距離感や地形を比較したり、様々なスケールで日本の土地利用を読み取ったりする活動・「日本の資料図」において、地形、降水量、人口分布、土地利用などの主題図から基本的な情報を読み取ったり、日本で起こりやすい災害を調べたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設け、複数の資料を関連させて捉えたり、考えを広げたりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、三分野の学習に活用できる主題図において、現代の諸課題に関連する資料を掲載したり、歴史に関連する場所を示す「歴史の舞台」を充実するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
		内容の構成・排列			
使用上の配慮等	<p>○ 「江戸・東京の鳥瞰図」など、歴史や地形を視覚的にとらえることができる見開き全体を使った資料を掲載したり、調べ学習や修学旅行で活用できる地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年）</p> <p>○ SDGsをテーマにしたページに関連資料を掲載したり、地図の活用法や学習を深める問いを提示した「Bee's eye（ビーズアイ）」のコーナーを設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年）</p> <p>○ 全ての生徒にとって、視認性の高いユニバーサルフォントを使用したり、グラフや地図などでは、見分けやすい色を使用したりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）</p>				
その他	<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>				

様式 2

観 点	番 号	発行者の番号・略称	使用学年	教科書の記号・番号	教 科 書 名
		46・帝国	第1・2・3学年	地図・046-72	中学校社会科地図
取 扱 内 容	学習指導要領の総則及び各教科、各学年の目標、内容等	<p>○ 社会科の目標を達成することができるよう、次のような学習活動が取り上げられている。</p> <ul style="list-style-type: none">・「世界全図」において、日本中心の地図とヨーロッパ中心の地図を比較したり、地域の時差を調べたりする活動・「世界州別図」において、同じ縮尺の図から地域の特色を比較したり、世界各地の環境問題の取組を調べたりする活動・「世界の資料図」において、世界各州の自然環境や生活・文化、歴史、産業などを調べたり、世界と日本とのつながりを読み取ったりする活動・「日本全図」において、各地の伝統工芸品や世界文化遺産を調べたり、北方領土、竹島、尖閣諸島についての資料から日本固有の領土を読み取ったりする活動・「日本地域別詳細図」において、地域の変化の様子を捉えられるよう、昔と今の地域の様子を比較したり、50万分の1図において、土地利用を読み取ったりする活動・「日本の資料図」において、自然、降水量、人口分布、産業、工業・交通の5図から分布の特徴を読み取ったり、自然災害や防災の取組を調べたりする活動 <p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応については、「地図で発見！」のコーナーを設け、地理的な見方・考え方を働かせる問いを追究したり、考えを説明したりするなどの学習活動が取り上げられている。</p> <p>○ 内容の構成・排列については、歴史的分野及び公民的分野の学習と関係が深いページにおいて、「歴史アイコン」「公民アイコン」を示し、他分野の学習に活用するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされている。</p>			
使用上の配慮等		<p>○ 世界の各州に、自然環境や生活・文化、産業などのイラストを配した鳥瞰図を掲載したり、修学旅行や平和学習に活用できるイラストの入った地図を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。（全学年）</p> <p>○ 地図帳の見方・使い方を解説した「この地図帳の凡例」「この地図帳の使い方」を掲載したり、SDGsについて考察できる「SDGsアイコン」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされている。（全学年）</p> <p>○ 全ての生徒にとって、読みやすいフォントとなるよう配慮したり、カラーユニバーサルデザインに対応した色彩表現にしたりするとともに、1人1台端末を活用した学習活動として、二次元コードを掲載するなど、使用上の便宜が図られている。（全学年）</p>			
その他		<p>※ 中学校用教科書目録（令和7年度使用 文部科学省）による</p> <p>○ 学習者用デジタル教科書の発行が予定されている。</p>			

＜地図の具体的な調査項目＞

◎調査研究の対象とした事項

- | |
|--|
| <p>① 内容（「世界の諸地域に関する内容」「日本の諸地域に関する内容」「資料・統計等」）ごとのページ数及び総ページ数</p> <p>② 自然災害及び防災に関する内容について取り上げているページ数</p> <p>③ 北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数</p> <p> (1) アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数</p> <p> (2) 北方領土に関する内容を取り上げているページ数</p> <p> (3) 道内の市町村等を取り上げている箇所数</p> |
|--|

◎調査対象項目にした理由

- | |
|---|
| <p>① 学習指導要領に示されている地理的分野の内容を適切に指導することが求められていることから、内容ごとや全体としての分量を把握する必要があるため。</p> <p>② 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成に向けて、防災を含む安全に関する教育の充実が求められていることから、自然災害及び防災に関する内容について把握する必要があるため。</p> <p>③ 生徒が興味・関心をもって学習することができるよう地域の実態などを生かした指導をすることが求められていることから、北海道にかかわる内容等について把握する必要があるため。</p> |
|---|

様式 4

※調査項目の数字が網掛けになっている項目は、様式 5 にデータを掲載していることを示す。

調査項目			発行者	東書	帝国	
①	内容ごとのページ数及び総ページ数	世界の諸地域	ページ数	61	62	
			全体に占める割合	35%	31%	
		日本の諸地域	ページ数	64	78	
			全体に占める割合	36%	40%	
		資料・統計等	ページ数	51	58	
			全体に占める割合	29%	29%	
		総ページ数			176	198
		前回の総ページ数			192	188
		増減			-8%	5%
②	自然災害及び防災に関する内容について取り上げているページ数		11	21		
③	北海道とかかわりのある内容を取り上げているページ数及び箇所数	アイヌの人たちの歴史・文化等を取り上げているページ数	7	6		
		北方領土に関する内容を取り上げているページ数	10	16		
		道内の市町村等を取り上げている箇所数	69	101		

※総ページ数は、中学校用教科書目録に示されているページ数とする。

様式 5

様式 4 の調査項目③〔北海道とかかわりのある内容〕の具体的な内容

者	内 容	教科書の構成（該当ページ）	取扱い方	タイトル・主な内容
東 書	歴 史 アイヌ ・ヌ 文の 化人 等た ちの	北海道地方南部（P122）	一般図	・コシヤマインの戦い（位置）
		北海道地方南部（P123）	一般図	・シャクシャインの戦い（位置）
			一般図	・アットウシ（位置）
			一般図	・二風谷アイヌ文化博物館（位置）
			一般図	・二風谷アイヌ資料館（位置）
			一般図	・国立アイヌ民族博物館（位置）
		北海道地方（P127）	一般図	・シャクシャインの戦い（位置）
			一般図	・アットウシ（位置）
		北海道地方（P128）	囲み	・北海道の地名についてアイヌ語の由来を調べるよう説明
		北海道地方の資料（P130）	資料図	・アイヌ語由来の地名についてアイヌ語の地名及びその意味を記載
北 方 領 土		世界と日本の文化（P138）	資料図	・日本の文化を示す資料において、二風谷アットウシの位置などを記載
			写真	・アットウシ
		日本の統計（P160）	表	・伝統的工芸品として、二風谷アットウシ、二風谷イタを示す
		東アジア（P22）	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
		ロシア連邦（P42）	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
		北海道地方南部（P124）	一般図	・国後島の位置などを示す
		北海道地方（P128）	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
			一般図	・千島列島の周辺にある島々として、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
		北海道地方の資料（P129）	資料図	・北海道の地形を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
			資料図	・北海道の人口分布を示す資料において、択捉島の位置などを記載
			資料図	・北海道の土地利用を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		北海道地方の資料（P130）	資料図	・北海道の地形と自然災害を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
			資料図	・アイヌ語由来の地名を示す資料において、歯舞群島の地名の由来などを示す
		日本の自然環境（地形）（P132）	資料図	・日本の地形を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の周辺（P172）	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
			写真	・択捉島
			囲み	・北方領土は日本の固有の領土であるが、ロシアが不法に占拠していることを説明
		都道府県の区分、旧国名（P173）	資料図	・都道府県の区分を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載

		日本列島 (P176)	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
帝国 歴史・文 化人 等 の	ア イ ヌ	北海道地方南部 (P146)	一般図	・ウポボイ (民族共生象徴空間) (位置)
		北海道地方南部 (P147)	一般図 一般図 一般図 一般図	・二風谷アイヌ文化博物館 (位置) ・アットゥシ織 (位置) ・アイヌの木工品 (位置) ・シャクシャインの戦い (位置)
	札幌市とそのまわり (P150)	北海道地方の資料 (P154)	資料図	・北海道のアイヌ語地名、アイヌ語の意味などを記載
		日本の歴史・生活・文化 (P173)	資料図	・シャクシャインの戦い (位置)
		日本の統計 (P181)	表	・おもな伝統工芸品としてアットゥシ織を示す
		世界の国々 (P2)	一般図	・択捉島の位置などを示す
	北 方 領 土	アジア州 (P24)	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
		東アジア (P28)	一般図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す
		東アジアと日本の交流の歴史 (P35)	一般図	・大陸から見た国後島、択捉島の位置などを示す
		ロシア連邦とそのまわりの国々 (P60)	一般図	・国後島、択捉島の位置などを示す
		太平洋・インド洋 (P75)	一般図	・択捉島の位置などを示す
		日本列島 (1) (P82)	一般図 写真 囲み	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・知床半島から見た国後島 ・北方領土は日本の固有の領土であるが、ロシアが不法に占拠していることを説明
		北海道地方 (P151)	囲み	・北方領土の島々の形を紙に写し取り、北海道の他の地域と重ねて広がりを確認するよう説明
		北海道地方 (P152)	一般図 一般図 資料図	・歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・千島列島の周辺にある島々として、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを示す ・日本とロシア・ソ連の国境の変遷において歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島が日本の領土であることを記載
		北海道地方の資料 (P153)	資料図	・北海道の自然を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の地形 (P156)	資料図	・日本の地形を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の自然災害・防災 (1) (P160)	資料図	・日本の地震と火山の分布を示す資料において、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の自然災害・防災 (2) (P162)	資料図	・日本の気象災害を示す資料において、国後島、択捉島の位置などを記載
		都道府県と昔の国名 (P196)	資料図	・都道府県を示す資料において、歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置などを記載
		日本の領土とそのまわりの国々 (P197)	写真 一般図	・日本の北端・択捉島 ・日本の北端である択捉島の位置などを示す
		日本の領土とそのまわりの国々 (P198)	一般図	・日本の領土とそのまわりの国々を示す地図において、北方領土として歯舞群島、色丹島、国後島、択捉島の位置を示す